

第4章

市街地復興計画

第1節 市街地復興計画の目的

1 市街地復興計画の目的

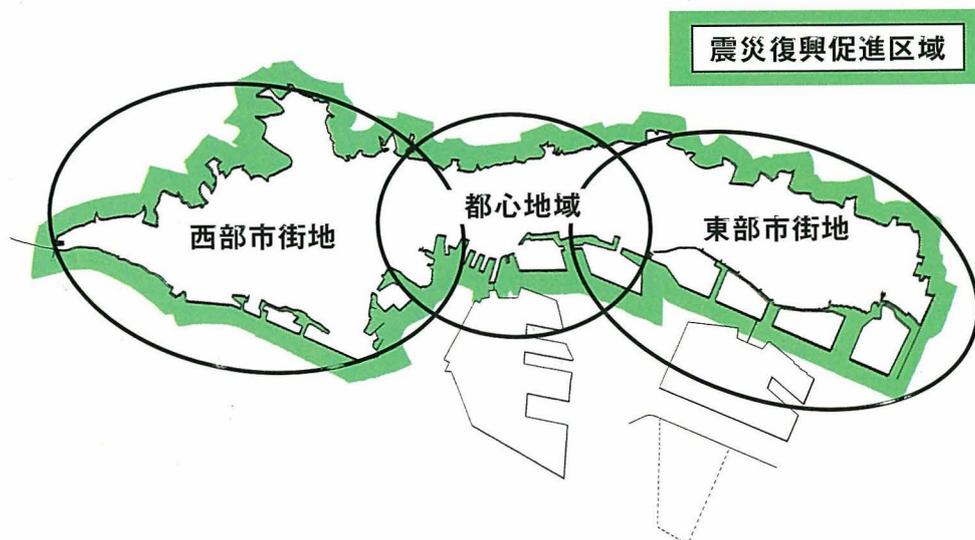
震災では市域全域が被災した。中でも六甲山系の南にひろがる既成市街地は特に大きな被害を受けた。これらの地域は、インナーシティ問題が顕在化し、震災前から総合的な施策展開が求められていたが、今回の震災では被害が集中し、さらに大きな課題を抱えることになった。これらの地域では、復興のまちづくりを総合的に展開し、安全で快適な市街地の形成と活力ある地域の再生を一体的に進める必要がある。

また、復興に向けては、まちづくりを市民・事業者・市が協働で進めることが不可欠である。協働のまちづくりを進めるにあたっては、地域の人々の主体的な参加のもとに創意工夫をまちづくりに生かすとともに、将来像を共有し、近隣地域との連携、広域的な位置づけなど幅広い視点からの検討を行うことも重要である。

市街地復興計画では、甚大な被害を受けた市街地のうち、特に総合的にまちづくりを推進する必要がある区域として「神戸市震災復興緊急整備条例」による「震災復興促進区域」について、地域の特性を踏まえた復興まちづくりの方向を示す。

この計画は、被災の著しい地域の復興を総合的に推進するための行政の指針であるとともに、地域の特性に応じて、市民・事業者・市が協働でまちづくりを進めていくためのガイドラインの役割を果たすことを目的とする。

市街地復興計画では、第1節で復興まちづくりの基本的視点、将来像等を示し、第2節以下ではその特性を踏まえて「都心地域」「東部市街地」「西部市街地」に分けて、それぞれに地域復興の視点と復興まちづくりの方向を示す。この中で地域の復興を牽引する事業を復興プロジェクトとして位置づける。また、参考として主な市街地整備事業のうち実施場所を概ね特定できるものを位置図と一覧表に整理する。



なお、全市的な視点からのまちづくりの展開については、復興計画を受けて9月を目途に確定する第4次基本計画に位置づける。

また、地域の特性を踏まえ、協働によるまちづくりを一層進めていくためには、地域に根ざしたきめ細かな計画の策定が必要であり、復興計画を受けて、より区民に身近な計画として年度内を目途に区のまちづくりの指針となる区別計画を確定する。

2 震災復興促進区域における復興まちづくりの基本的視点

復興に向けては、安全で快適な市街地の形成を図るとともに、それぞれの地域の個性を生かしたまちづくりを進め、相互の連携を強化し、厚みと広がりのある都市づくりを進める必要がある。

また、地域の身近なまちづくりは、地域の個性や特性を生かして、市民・事業者・市が協働で進めることが重要である。

地域別の展開に先立ち、復興まちづくりを進める上で留意すべき基本的な視点を以下に掲げる。

(1) 被災市街地の総合的な整備とインナーシティの活性化

震災では既成市街地域全域が大きな被害を受けたが、特に生活道路など身近な公共施設の整備が遅れ、老朽化した木造住宅が密集するいわゆるインナーシティでは建物の倒壊や延焼などにより大きな被害が集中した。

神戸市では平成元年に「神戸市インナーシティ総合整備基本計画」を策定し総合的な市街地整備に取り組んできたが、今後より一層、都市基盤・住環境の整備と良質な住宅の供給を一体的に進めるとともに、保健・医療・福祉との連携の強化、地域に根ざした産業の振興などインナーシティの活性化とあわせた総合的な市街地整備を推進し、安全で快適な市街地の形成と、活力あるインナーシティの復興を進める。

また、復興に向けた都市基盤や建築物等の整備にあたっては、交通ターミナルや公共施設、民間建築物、道路や公園など面的な広がりの中で福祉的配慮を推進し、外国人や来街者にもわかりやすい歩行者動線の整備を進めるなど、すべての市民が安心して活動できる環境づくりを進める必要がある。

(2) 安全都市づくりの推進

海と山が近い地形特性に応じて、地震や高潮、水害や土砂災害、火災など多様な災害に備えるとともに山麓部、臨海部、河川や街路等の防災緑地軸、広域避難地となる公園等の整備を進め、港・海の活用や広域的な連携を念頭においた“水とみどりのネットワーク”を市街地に形成し、災害に強い都市構造を築く。

また、生活道路や公園など身近な公共空間の整備と良好な住宅整備等を一体的に進め、安全な市街地の形成を図るとともに、近隣生活圏や生活文化圏、区生活圏などの圏域の広がりに応じて地域の防災拠点やライフスポット（地域の生命維持拠点）の整備を進め、被災時に自立性

の高い防災生活圏の形成を図る。

あわせて、日常はこれらの拠点を活用した交流を促進し、ふれあいのまちづくりや学校や公園を中心とする地域での交流を通じてコミュニティの形成を図り、安心して暮らせる環境づくりを進める必要がある。

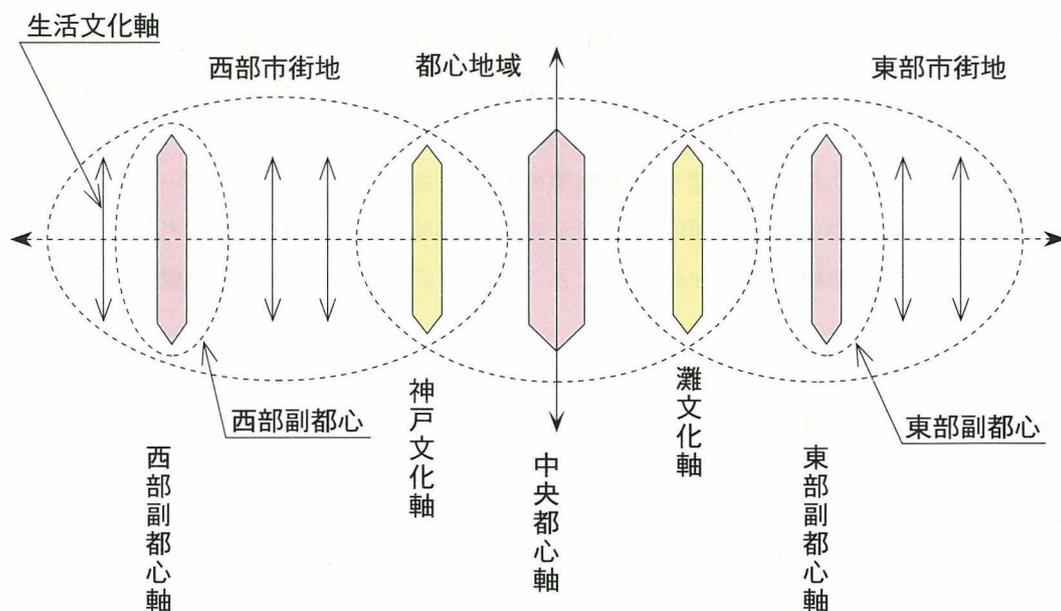
(3) 拠点の整備と自立性の高い生活圏の形成

既成市街地全体の発展と、個性を生かした自立性の高い生活圏を形成するため、その拠点となる都心、副都心、生活拠点等の中心核の形成とその連携を図る。

都心では、三宮を中心とする被災市街地の再生にあわせて魅力ある都心づくりを進めるとともに、東部新都心の早期整備、都心臨海部の再開発を促進し、国際交流拠点としてさらなる発展をめざす。

また、東部市街地ではJR六甲道周辺で、西部市街地では新長田周辺で、市街地再開発事業と土地区画整理事業等の実施にあわせて、地域特性に応じた特色ある都心機能の導入を進め、都心と連携しながら既成市街地域の拠点形成を図る中心として副都心の整備を進める。

生活文化圏レベルでは、市民生活と交流を支える身近な拠点として、また地域の自立性を高める拠点として、被災地の再生にあわせて生活拠点の形成を図るとともに、その連携を強化するため魅力ある生活文化軸の形成を図る。



(4) 水とみどり豊かな市街地の形成

水とみどりは市街地にゆとりとうるおいを与え、非常時には延焼を遮断し、生活を支える貴重な資源となる。既成市街地域は海と山が近く、南北に流れる河川は市民が身近に自然とふれあえる空間として親しまれている。この地形的特性を生かし、河川や街路、山麓を利用し、水と親しむみどり豊かな空間づくりを進めるとともに、港・海を活用し、水際空間を生かした臨海部の緑地軸や海上を利用した交通・輸送手段の確保、消火活動への海水の利用など、水とみどりを活用し、ゆとりある市街地の形成と災害に強い都市づくりを一体的に進める。

また、公園・緑地等の整備や緑化の推進等により、市街地にみどりを増やし、ゆとりある市街地の形成を図るとともに、雨水や下水処理水の活用など市街地に水をためる工夫を展開する。

水とみどりを生かしたまちづくりを進めるにあたっては、河川や公園を拠点とするまちづくり活動との連携、雨水を活用したまちづくりの推進など、協働によるまちづくりの多様な展開を図り、交流を通じて豊かなコミュニティの形成を進めることが重要である。

(5) ウォーターフロントの整備と市街地との連携の強化

みなとは神戸の経済を支え、市民生活にうるおいを与える重要な資源である。市街地の復興を促進し、安全で快適な市街地を形成するためには、市街地整備と連携のとれた臨海部の整備が重要な役割を果たす。

整備にあたっては、大阪湾ベイエリアの一翼として、都市機能の強化を図るとともに、市街地との連携を強化し、港湾機能と調和のとれたウォーターフロントの整備を進め、市民の憩いの空間として、また、災害時に安全を確保する拠点として、親しめるみなとづくりを進める必要がある。

(6) まちづくりと一体となった産業の振興

東部の酒造業、西部のケミカルシューズ産業等の地場産業や都心の商業・業務の集積など地域に根ざした産業がまちの活力を支えてきたが、震災では工場などの生産施設をはじめ産業基盤が大きな被害を受けた。

産業の復興とさらなる活性化は地域に活力と魅力を与え、産業と地域の魅力が相乗効果をもたらす。活力ある産業と暮らしやすいまちとの共生を図るため、地域のまちづくりと一体となった産業の振興を図るとともに、まちづくりを通じて事業者と住民の交流を促進することが豊かな地域社会を築く上でも重要である。

(7) 地域の個性を生かした魅力あるまちづくり

祭や伝統的建造物などの歴史的資源、酒蔵などに代表される産業文化、開港以来の交流が育んできた国際性、大学の集積など多様な個性と魅力をもち、また住み暮らす地域の人々や働く人々、学生、買い物や観光で訪れる人々など、まちの交流の主役も地域によって多様性に富ん

でいる。

市民が愛着と誇りのもてるまちを築くとともに、神戸の魅力を発信し、多くの人々が交流する活力と魅力あるまちをめざし、地域の多様な個性を生かした協働のまちづくりを推進する。

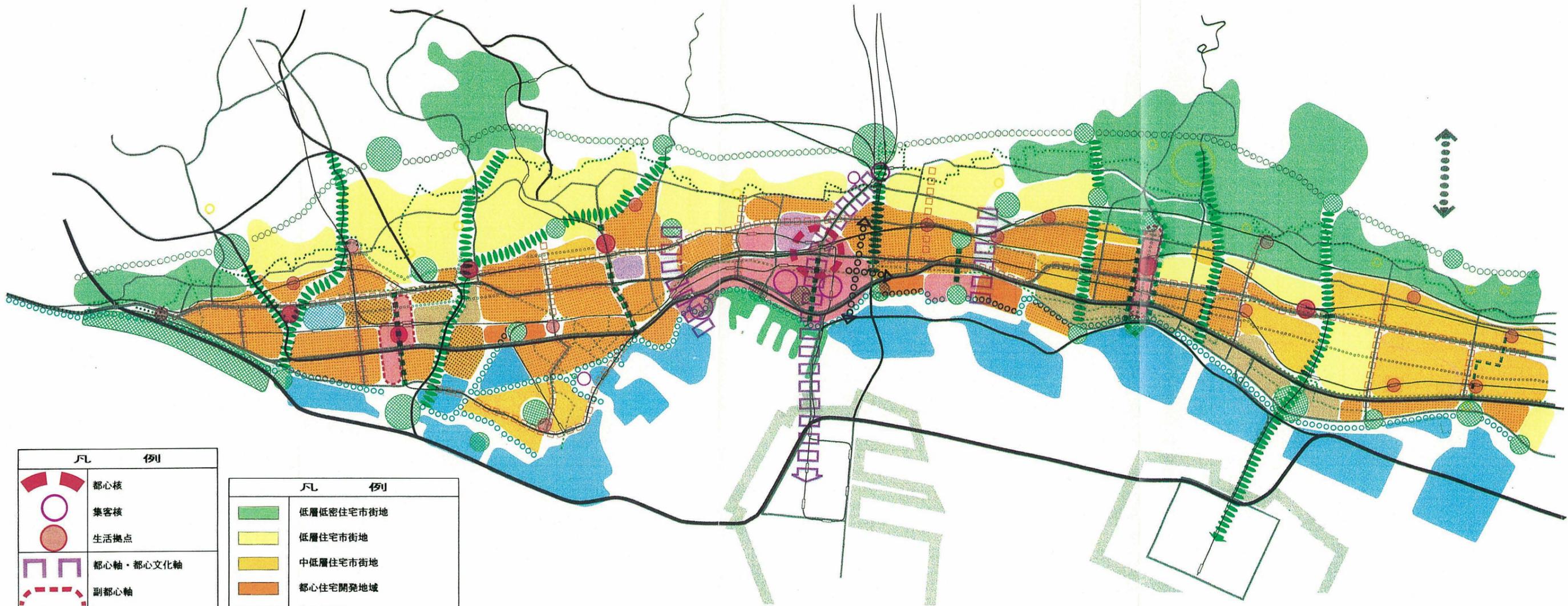
(8) 協働によるまちづくりの推進

地域では復興に向けての様々な取り組みがはじまっている。住民の主体的な活動が展開され、まちづくりへの気運が高まっている。復興に向けては地域の身近なまちづくりを協働で進め、市民の創意工夫をまちづくりに生かしていくことが重要である。

また、震災後の救助・救援活動等では、学生やボランティアが活発に活動しており、彼らとの連携を図り、ともに復興をめざしていくために、新たな担い手がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進めることも重要である。

様々なまちづくりが展開される中で、常に協働の視点を持ち、その推進に努める必要がある。

将来構想図



凡	例
	都心核
	集客核
	生活拠点
	都心軸・都心文化軸
	副都心軸
	街路緑地軸
	河川緑地軸
	都心・副都心緑地軸
	山麓緑地軸
	公園・緑地
	山麓リボンの道 歴史の道 ふれあいの道 なぎさ海道

凡	例
	低層低密住宅市街地
	低層住宅市街地
	中低層住宅市街地
	都心住宅開発地域
	複合市街地
	住工共生型複合市街地
	地域産業市街地 (酒蔵のまち・くつのみち)
	生産・流通地域
	都心・副都心地域(商業・業務)
	" (都心ウオーターフロント)
	" (歓楽街)

第2節 都心地域復興計画

1 地域復興の視点

都心地域は神戸市の中央部に位置し、近隣市町を含む広域都市圏の中核である。北は布引ハーブ園など緑多い六甲山系、南は世界に誇る神戸港に挟まれた、特色ある市街地を形成している。そして、神戸港ではポートアイランド（第2期）が建設中であり、神戸空港が計画されている。

1868年（慶応3年）の兵庫開港と外国人居留地の整備にはじまり、近代神戸の発展の中心を担い、居住機能等の集積とともに、国際色豊かな地域を形づくってきた。現在は、三宮・元町周辺やポートアイランド、ハーバーランド等に、ファッション産業に代表される企業の本支店や行政施設、広域商業施設、小売・飲食施設、文化施設等が集積し、公共交通機関の結節点としてもにぎわっている。さらに、これらに隣接する山麓部や東部、西部には住宅地が形成され、都心の魅力を高めている。

震災では、三宮駅周辺の中核部を中心に全域が大きな被害を受けた。鉄道や高架道路の寸断、岸壁や後背地の被災による港湾機能の停止、中高層ビルをはじめとする建物の倒壊による企業・商業活動の停止、電気・ガス・水道・電話等の途絶などにより、都心の高度に集中した機能が大きな打撃を受け、一時的に都市活動が麻痺状態に陥った。

復興にあたっては、広域都市圏の発展の核となる中心拠点として、一層の魅力化、機能の強化を図るとともに、非常時においても都心機能を維持し、広域の防災中枢拠点として、また来街者等も含め多くの人々の安全を守る拠点として、災害に強い都心の形成を図る必要がある。

（都心機能の復興）

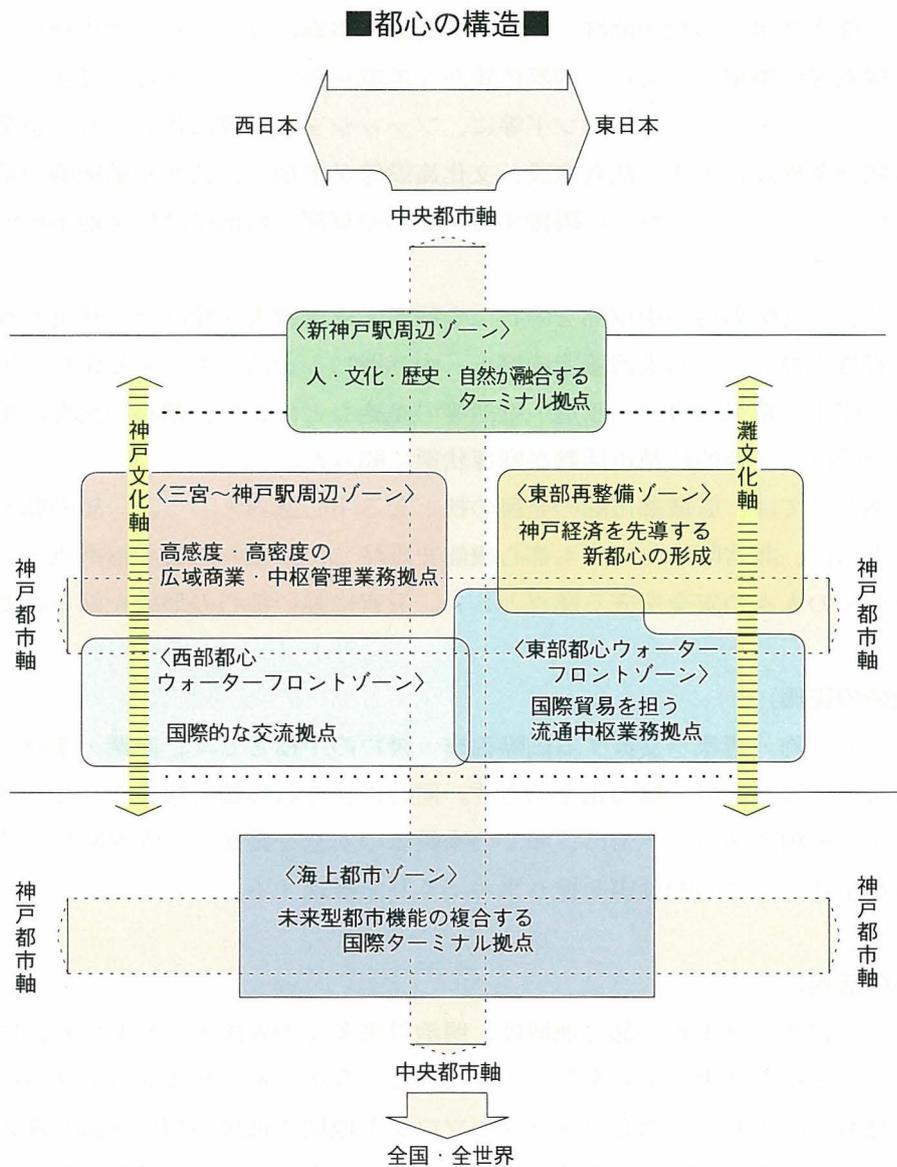
多彩な人・物・情報が交流する国際都市・神戸の中核として、商業・業務・文化など都心機能の回復と一層の集積・魅力化をめざす。同時に、これら都心機能を支える基盤整備として、交通体系の再編を図るとともに、多くの来街者の安全を確保し、非常時には防災拠点として機能する都市防災の中心的役割を担うまちづくりを推進する。

（海・港の活用）

海と山の自然に恵まれた都心地域は、明治以来多くの外国人にも愛され、国際港都・神戸の中心として独特の文化とまちを形づくってきた。今後とも、日本を代表する国際港都の中心としての発展をめざして、都心ウォーターフロント地域で市民が憩い交流を深めるみなとづくりを進めるとともに、災害時に適切に対応できる港を生かした防災基盤の整備を図る。

(都心の魅力を高める生活空間の再生・創造)

都心地域は居住機能と都心機能がお互いに魅力を高めあい、山や海、河川の自然とも融和した独自の市街地環境を形成している。この特性を生かし、山麓住宅市街地の環境保全、都心に近接する既存の居住環境の一層の改善・向上を図るとともに、魅力ある都心居住の実現を図り、あわせて居住者や就業者、来街者、外国人など多くの人々が交流する豊かなコミュニティの形成を進める。



2 復興まちづくりの方向

(1) 都心機能の強化

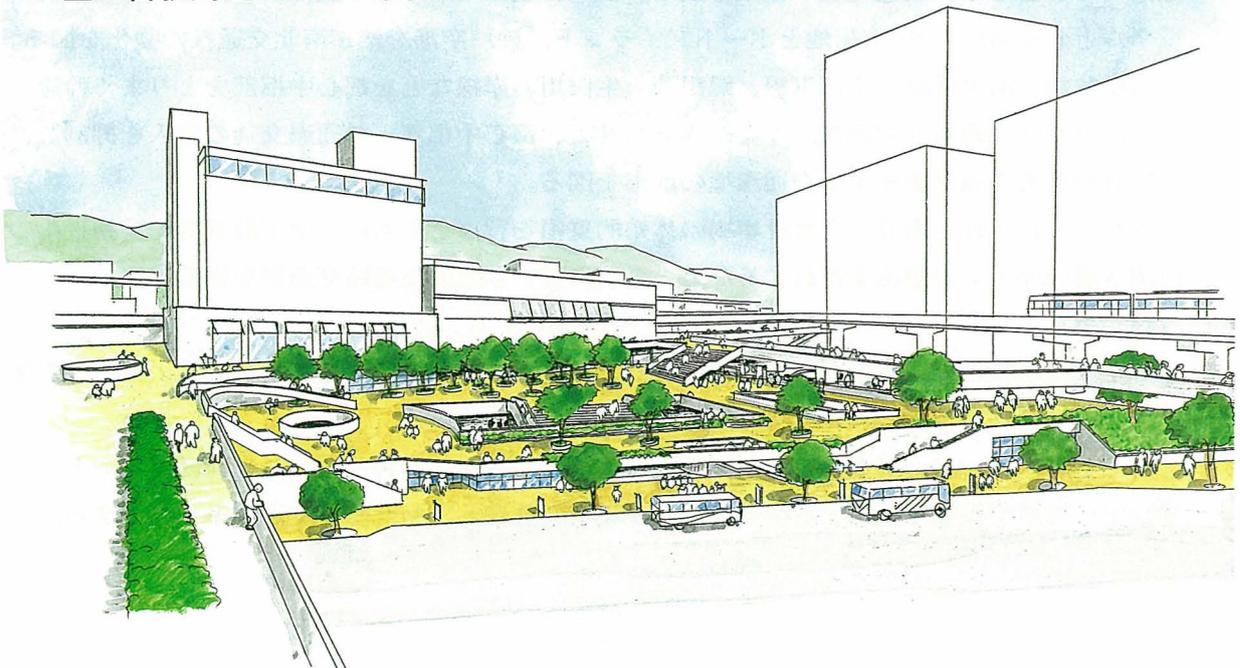
復興にあたっては、三宮周辺の中心部の再生・魅力向上を図るとともに、東部新都心の整備による業務・研究機能等の集積、商業・業務機能の集積するハーバーランド、伝統ある商店街である元町等との連携を強化し、都心内に特色を生かした核を分散的に形成し、相互の連携と機能分担により、総合的な都心機能の強化を図る。

被災の大きい都心中心部では、建物の再建・高度利用を促進し、魅力ある都心景観の形成と広域的な商業・業務・行政・文化等、都心機能の強化に努める。三宮駅およびその周辺地区では、駅前広場を歩行者を中心とした快適性の高い広場として再整備し、ターミナル機能を強化するとともに、地下・地上・デッキによる立体的な歩行者動線のネットワークを構築する。さらに、周辺街区の一体的かつ総合的な整備を進め、フラワーロードでつながる東遊園地、新港第4突堤周辺にいたる一帯を都心のシンボルゾーンとして整備し、災害に強く都心にふさわしいおおいのある空間を創出する。

都心東部の臨海部では、21世紀の神戸の発展に向けて、土地利用の転換・機能更新を進める。特に東の拠点となる東部新都心は、市街地復興とインナーシティ活性化の先導的役割を果たすプロジェクトとして、早期実現を図る。

また、個性を生かした協働のまちづくりを推進し、回遊性の高い魅力空間を創造し、それぞれの都心核が魅力を高め合う多様性に富んだ都心空間の形成を進める。

■三宮駅周辺イメージ図■



(2) 防災中枢拠点としての安全な都心づくり

都心には中核的な機能が集中するとともに、働く人々や来街者、外国人など多くの昼間住民が活動する場であり、災害時にはその機能を維持し、防災中枢拠点として機能するとともに、多くの昼間住民の安全を確保する必要がある。

都心中心部では、市役所を中心として、東遊園地や港湾の防災拠点との一体性を高め、行政機関や医療機関との連携を強化し、広域的な連携のもとに市全体の防災中枢拠点としての機能強化を図る。また、三宮駅周辺をはじめターミナル周辺の整備を進め、安全に活動し、また、避難できるデッキや地下を活用した多重性のあるネットワークの形成を図るとともに、建築活動にあわせて街角広場を確保するなどゆとりある都心の形成を進める。

都心東部では東部新都心の整備と王子公園の連携の強化、都心西部ではハーバーランドと大倉山公園の連携の強化を図り、広域的な防災拠点の形成を図る。

また、学校と公園との一体的整備を進めるなど、地域の防災拠点の形成を図るとともに、ふれあいのまちづくりや学校を拠点とする交流等を通じて安心を育むコミュニティの形成を促進する。

(3) 都心機能を支える交通体系の再編

人・物・情報が交流する神戸の中核としての広域的な都市機能を支えるため、海・空・陸の総合的な交通体系の整備を図るとともに、各交通手段の連携を強化する。

(道 路)

大阪湾岸道路や神戸中央線などの広域幹線道路網を早期に整備し、都心部への円滑な交通を確保するとともに、通過交通の軽減を図る。また、生田川右岸線の整備や神戸中央線と港島トンネルとの連絡により、市街地とポートアイランド・神戸空港を結ぶ南北交通軸の強化を図る。

山手幹線、浜手幹線、宇治川線、鯉川筋、生田川右岸線などを都心中枢部をとりまく幹線として位置づけ、適切な交通規制等を組みあわせて、都心中枢部への通過交通の流入を抑制し、歩行者や公共交通を優先する交通環境の創出を図る。

また、三宮北駐車場等、公共駐車場の体系的整備を行うとともに、地下駐車場や業務ビルの荷捌き場の地下での連絡を検討するなど、災害に強い多重的な道路交通網を構築する。

(鉄 道)

地下鉄海岸線の早期整備を行うことにより、市街地の復興を促進するとともに、都心部の地下空間の有効利用を図る。

ポートアイランド（第2期）や神戸空港の整備をふまえ、新神戸駅・三宮地区とポートアイランド・神戸空港等を連絡する中央都市軸鉄軌道を整備し、南北軸の交通体系を強化する。

(4) 港湾の再開発

港湾は国際港都・神戸の中核的機能であり、世界に向けた発展をめざし一層の充実・強化を図る。また市街地との連携を強化し、市民に開かれた水際空間の創出を図るとともに、避難動線や物資搬入経路の確保等、災害時における輸送手段を強化する。

ハーバーランドから新港第4突堤周辺に至る一帯は、都心地域の水辺空間として重要な位置にあり、市民に親しまれ、にぎわいのある都心ウォーターフロントの整備を行い、国際港都を代表する新しい港湾環境の創造をめざすとともに、災害時には京橋地区を中心に港湾の防災中核拠点として、多目的な利用を図る。

新港突堤東地区では、港湾物流機能向上のため、突堤間の埋立による広い埠頭用地の確保、災害に強い質の高い港として港湾機能を強化するため、耐震岸壁の整備や内陸輸送能力の充実、都心地域に位置する立地特性を生かした後背地の水際業務空間の創出を推進する。

東部新都心では、背後の新都心とその周辺に対する港湾の防災拠点として、大規模な水際広場やハーバーウォーク（港の遊歩道）などを整備するとともに、隣接する臨海部での海の回廊や都心の遊歩道との連携によって、水とみどりを活用した安全で快適な歩行者空間のネットワーク化を図る。

■中突堤周辺地区再開発の全体整備イメージ■



(5) 居住環境の向上と都心居住の推進

居住機能は神戸の都心地域を特色づけ、魅力を高めてきた。復興にあたっては、都心機能と調和した良好な居住環境の形成を進め、魅力ある都心居住の実現を図る。

山麓部では、既存の良好な居住環境を保全・育成する。

都心に隣接した老朽住宅等が密集している地区では、住環境の改善、共同化の促進等により良質な住宅への改善・供給を促進する。

元町や花隈をはじめ都心部では、都市活動を円滑に行う拠点となる住宅や、文化・商業・業務などの各種機能と複合した新しいかたちの住宅等の供給を誘導し、都心居住の促進を図る。

東部新都心では多様な生活様式に対応した住宅を様々な供給主体によって早急に供給するとともに、商業や文化、交流機能とも一体となった複合市街地の形成を図る。

(6) 水とみどり豊かなうるおいのある都心づくり

市民が水とみどりにふれあえる拠点として山麓緑地軸やウォーターフロントの整備を進めるとともに、フラワーロードや生田川、灘文化軸、神戸文化軸等の南北の緑地軸を強化し、海と山が近い地形的特性を生かした“水とみどりのネットワーク”の形成を図る。また、建物の再整備等にあわせて、まち全体の緑化を進め、水とみどり豊かなうるおいのある都心づくりを進める。

都心中心部では、東遊園地周辺の再整備を進め、臨海部との連携を強化し、都心のシンボルゾーンを形成する。また、フラワーロードをはじめ道路空間の緑化を進めるとともに、建物の再整備にあわせて街角広場の確保や緑化の推進、良好な都市景観の形成を進めるなど、都心にふさわしい街並みの形成を図る。また、生田川は都心中心部の貴重な水辺空間であり、山と海を結ぶ水とみどり豊かな河川緑地軸としての整備を図る。

都心東部では、東部新都心の整備にあわせて水際の魅力を生かした公園・緑地等の整備を行い、王子公園の再整備や南北街路の緑化等を進め、臨海部と山麓部とを結ぶみどり豊かな灘文化軸を形成する。

都心西部では、ハーバーランドから神戸駅周辺、大倉山を結ぶ神戸文化軸を文化の香り高い緑地軸として強化する。

山麓部では、新神戸駅周辺を布引公園などと連携のとれた拠点として整備するとともに、防災とまちづくりが一体となった治山砂防事業を推進し、山麓部を東西に結ぶ歩行者動線の強化を図るなど山麓緑地軸の整備を進め、都心の魅力を生かした良好な住宅地の保全・育成を図る。

臨海部では、港の歴史を生かしながらウォーターフロントの整備を進め、市街地との連携を強化し、市民が水辺と親しめる空間づくりを進める。

(7) 都心の特性を生かした多様なコミュニティの育成

都心地域では、居住する人々とともに、働く人々や来街者、外国人など多くの昼間住民が日

々活動している。復興に向けては、企業市民も含めた多彩な人々が交流する多様なコミュニティを育むことが重要であり、就業者のネットワークづくり、地域のコミュニティ活動への企業市民の参加促進、勤労者福祉施設の整備・拡充などを通じて、昼間住民の地域活動への積極的な参加を促進し、地域住民と昼間住民との協働のもと、都心の特性を生かしたまちづくりを推進する。

また、地域における国際交流を支援する人材の育成、生活サービス情報の提供、地域住民との交流機会の提供など、外国人市民にとって暮らしやすい地域づくりを進める。

これらのまちづくりを通じて、昼間住民のコミュニティや外国人コミュニティの基盤となる地域での交流を促進し、多様なコミュニティ活動の連携を強化し、災害に強い防災生活圏の形成を図る。

(8) まちの個性化と協働のまちづくりの推進

都心地域では、歴史や人・文化によって個性的な「まち」が形成され、お互いに魅力を高めあってきた。旧居留地や南京町、北野・山本地区など歴史的地区、三宮センター街、元町通り、ハーバーランド、三宮駅北地区などの広域型商業地区、春日野道や宇治川などの近隣型商業地区、都心に隣接する多様な住宅地など、地区ごとに個性あるまちが形成されてきた。

これらの地域では、震災前から都市景観の形成や商店街・小売市場の振興、住環境の改善など企業市民も含めた市民の主体的なまちづくり活動が展開されており、今後もまちづくりの動きと連携しながら、テーマ性をもった個性豊かなまちづくりを協働で推進する。

また、復興に向けてまちづくりの気運が高まっている地域については、まちづくりに参加しやすい環境づくりやまちづくり協議会の組織化、活動支援等を通じて協働によるまちづくりの推進を図る。

魅力ある都心中心部の創造

【目 的】

広域圏及び都市圏の交通機能の集積する三宮駅周辺は神戸の玄関口であるとともに、広域商業・業務・文化施設が集積する都心の中核を形成している。魅力ある都心の復興をめざして、三宮駅を中心とした都心中心部の一体的・総合的な整備を推進し、災害に強く、快適性の高いうるおいのある都心空間の創造をめざす。

【計画概要】

三宮駅前広場を光あふれ、緑豊かなターミナル空間として拡充・再整備するとともに、JR、阪急、阪神、ポートライナー、地下鉄山手線・海岸線の鉄道及び各種バスなどのターミナルを中心に、周辺街区との一体的整備を進めるとともに、立体的な歩行者空間で連絡するなど移動しやすい環境づくりを進め、安全で快適性の高い都心空間の形成を図る。

街区の再整備にあたっては、街角広場やうるおい空間の創出、魅力ある都市景観の形成を図るなど、都心にふさわしい魅力ある街なみを創造する。

また、駅前広場を中心にわかりやすく回遊性のある地下・地上・デッキの歩行者動線のネットワークを構築し、災害時には有効な避難路として機能するよう業務ビル、地下鉄ターミナル、地下駐車場等を連絡する地下空間のネットワークを形成する。

【主な事業】

- 地区計画制度、景観誘導制度の活用による周辺街区の一体的整備の促進
- 駅前広場の再整備
- 地下・地上・デッキの三層の歩行者動線のネットワークの形成
- 地下鉄海岸線の整備等にあわせた地下空間のネットワークの拡充
- 国際会館の再整備
- 防災緑化重点地区の指定

都心ウォーターフロントの整備

〔目 的〕

ハーバーランドから新港第4突堤周辺に至る地区は、市民に親しまれる都心のウォーターフロントとして重要な位置にあるとともに、京橋地区を中心に港湾の防災中枢拠点としても重要な役割を担っている。

また新港突堤西地区（第1～4突堤周辺）は、神戸港発展の基礎となった最初の近代的港湾施設であり、歴史的建造物を生かしながら、国際港都を代表する魅力をもつ市民に親しまれる港湾環境の創造をめざす。

〔計画概要〕

国産・弁天地区は瀬戸内海向けの小型内航旅客船や小型クルージング船のターミナルや商業関連施設を整備する。

京橋地区は官公庁船等の小型船溜まりを前面に再編・整備し、現在の船溜まりは開港以来の情景と周辺の居留地の雰囲気を残しつつ土地造成を行い、業務・文化・交流施設の導入を図る。また小型船溜まりの再編・整備にあわせ、港湾の防災中枢拠点として機能の充実を図る。

新港突堤西地区（第1～4突堤周辺）では、水際線は旅客船やクルーズ船等のターミナルとして整備し、背後地域には業務施設や客船ターミナルを中心とした商業・文化・交流施設を配置する。

またハーバーランドからメリケンパーク、新港第4突堤を結ぶウォーターフロントプロムナード（海辺の遊歩道）を整備するとともに背後の都心部との連絡の強化を図り、市民に親しまれるにぎわいと魅力にあふれる国際的な都心ウォーターフロント空間を創出する。

〔主な事業〕

- 大型旅客外航船やイベント船などのターミナル整備
- 港湾機能をいかした文化・交流施設の展開
- ウォーターフロントを生かした複合商業・業務機能の展開
- 都心につながる水際緑地空間の展開、歩行者動線の強化
- 税関本館等の歴史的建造物の保全・活用
- 京橋地区の再開発と港湾の防災中枢拠点の形成

灘文化軸の整備

〔目的〕

都心東部の山手には松蔭女学院や海星女子学院、葺合高校などの文教施設、中央部には王子公園・王子動物園、近代美術館や王子市民ギャラリーなどの文化施設が集積し、緑豊かな文教ゾーンを形成している。

臨海部では、東部新都心の整備を進め、水際空間を生かした新たな文化・教育環境を創造するとともに、山手と結ぶ緑地軸の整備、文化・教育・交流施設等の集積を図り、豊かな文化環境を生かし、ウォーターフロントと山手の魅力を同時に楽しむことができる都心東部の文化交流シンボル軸として「灘文化軸」の形成を図る。

〔計画概要〕

東部新都心の整備にあわせて県立美術館や企業博物館等の文化施設、WHO神戸センターをはじめとする学術・研究施設や教育施設等の誘致・集積を図るとともに水際広場やハーバーウォーク（港の遊歩道）等を整備し、水と文化に親しむ魅力空間を創造する。

南北街路、公園等の整備を図り、緑豊かな環境づくりを進めるとともに、沿道地区の教育施設や王子公園、企業記念館等を有機的に連絡する歩行者動線を強化し、臨海部と山麓文教ゾーンが一体となった灘文化軸の形成を図る。

あわせて、灘駅周辺の整備、阪急王子公園駅、阪神岩屋駅との連絡動線の強化等、ターミナル機能の強化を図るとともに、南北の歩行者動線の充実を図る。

また、王子公園の防災拠点機能の強化、東部新都心における防災拠点の整備、南北動線の強化による避難路や緊急輸送路の確保等により、市街地と臨海部の連携のとれた都心東部の広域的な防災拠点の形成を図る。

〔主な事業〕

- 東部新都心の整備
- WHO神戸センターなどを中心とした国際的研究機関の誘致
- 県立美術館の誘致
- 企業博物館の誘致
- 水際広場の整備
- 街路緑地軸の整備
- 王子公園・王子南公園の再整備
- 東部新都心の整備にあわせた防災拠点機能の整備

新港突堤東地区の再開発

【目 的】

都心中枢部に近接する港湾物流拠点である新港突堤東地区を、輸入食品等の都市型物流の中心とする外貨貨物取扱拠点として再開発し、あわせて災害時にも機能する港湾の整備を進める。

【計画概要】

突堤間の埋立てにより広いヤードや港湾関連用地を確保し、港湾物流機能の向上を図るとともに緑地を整備し、魅力ある港湾環境の創造を図る。

埋立てに際してはコンクリート系のガレキを受け入れるなど市街地復興との連携を図るとともに、港湾機能の再開発空間を創出する。

また耐震強化岸壁の整備を行い、緊急時にも市街地に隣接する物流拠点として機能しうる港湾機能の強化を図る。

【主な事業】

- 岸壁と一体的に機能する港湾関連用地の整備
- 耐震強化岸壁の整備
- 港湾環境改善のための緑地の整備
- コンクリート系ガレキの受け入れ

生田川河川緑地軸の整備

【目 的】

生田川は都心の中心部を流れる貴重な水辺空間である。新神戸の北側には布引公園があり、生田川沿いは桜の名所として多くの市民に親しまれている。また河口部では東部新都心等の整備が計画されている。

この生田川を都心を訪れる多くの人々の交流の場となる、水とみどり豊かな憩いの空間として整備し、山と海をつなぐ都心のシンボル空間を形成するとともに、周辺地域の快適な環境づくりを促進する。

また、緑地の整備、南北の交通動線の整備を進め、防災緑地軸の機能強化を図るとともに、広域の玄関口である新神戸駅や都心地域と、西神・北神地域と海上都市地域とを結ぶ広域交通網を強化し、災害に強い都市構造を構築する。

【計画概要】

生田川を緊急時の水の利用を考慮した親水空間として整備するとともに、川沿いの公園・緑地を桜を中心とした緑豊かな空間として整備する。

また、河川空間を利用したイベントや河川愛護活動等を支援し、市民の交流とコミュニティ形成の拠点として活用することにより、親しめる河川づくりを進める。

河口部では東部新都心の整備にあわせて親水公園を確保し、南北の歩行者動線の強化により山麓から臨海部にいたる水とみどりの緑地軸を形成する。

新神戸駅周辺では布引公園や北野浄水場等との一体的整備を進め、文化・集客・交流機能の強化を図る。

また、生田川右岸線の延伸整備等、南北の交通網の強化を図るとともに、緩衝緑地の機能をもつ公園・緑地等の整備を進め、防災緑地軸の強化を図る。

【主な事業】

- 河川沿道路の緑化推進
- 河川を利用したイベント、河川愛護活動等の促進
- 生田川左岸の公園・緑地等の整備
- 東部新都心の整備による河口部の親水公園の整備
- 南北の歩行者動線の強化
- 生田川右岸線の整備
- 生田川沿い街区の景観形成誘導
- 布引公園・北野浄水場等、新神戸駅周辺の一体的整備
- 親水性と緊急時の水の利用を考慮した水辺の整備（防災ふれあい河川）

歴史的地区再生プログラム

〔目 的〕

都心地域は開港以来、港を中心とした国際的な交流のもとに旧居留地や北野・山本地区、南京町、元町、栄町など個性豊かなまちを形成してきた。これらのまちでは住民や事業者の主体的なまちづくり活動が展開され、新たなコミュニティも形成されている。

まちづくりの歴史と培われてきた文化を生かし、多彩な魅力をもつ歴史的地区の再生を図る。

〔計画概要〕

地元の市民・事業者等によるまちづくり組織とともに復興ガイドプランづくりを進め、歴史的・文化的資源の再生・活用を図るとともに、まちの復興にあわせて遊歩道やコミュニティ道路の整備を進めるなど、建物の整備と連携した回遊性の高い魅力空間の創出と個性豊かなまちなみ形成を進め、まち全体が博物館のように楽しめる魅力あふれるまちづくりを協働で推進する。

また、まちの多彩な魅力を生かしたイベントの開催や、市民花壇の整備、クリーン作戦の推進など企業市民や働く人々が地域活動に参加しやすい機会づくりや組織づくりを支援し、まちづくり活動を通じて災害時にも協力しあえる都心の特性を生かした新たな安心コミュニティの形成を図る。

さらに、都心に共存する良好な居住地としての環境の保全、防災性の向上を図り、居住機能と調和した魅力ある都心づくりを進める。

〔主な事業〕

- 遊歩道、コミュニティ道路等の整備
- 歴史的資源の活用促進
- 地元組織との協働による景観誘導など「復興ガイドプラン」の作成
- 企業市民のまちづくりへの参加促進
- 都心の特性を生かした新たな都心型コミュニティの形成支援
- まちの魅力を高めるイベントの開催
- 居住環境の向上、都心居住の促進

第3節 東部市街地復興計画

1 地域復興の視点

東部市街地は六甲山系の南にひらけ東西に細長くひろがり、古くから関西を代表する住宅地として発展してきた。山麓部を中心に大学や短大、美術館などが集積し、文教のまちとして豊かな文化環境を育んできた。浜手には酒造業や地場産業の集積があり、酒と食文化を中心とする伝統的な産業文化を培ってきた。山麓・山手の住宅地、中間部の住・商・工の複合する市街地、浜手・臨海部の工業地帯が坂に沿って比較的明快な三層構造が構成しているが、近年はお屋敷や浜手の工場跡地が中高層集合住宅に変わるなど住宅の中高層化が進む傾向にあった。

震災では住宅が著しい被害を受けるとともに、酒蔵などの生産施設や資料館などの文化施設など産業・文化面も大きな打撃を受けた。また、東西方向に発達していた交通機関も甚大な被害を受け、市民生活や都市活動に大きな支障をきたした。しかし一方では大学をはじめ多くのボランティアが救援活動等に活躍するなど、改めて人々の交流の重要性が認識された。

復興にあたっては、良好な住宅地としての立地条件の良さを生かし、民間活力を積極的に導入し、魅力ある都市型住宅地としての復興を進める必要がある。また、大学や酒づくりなど地域固有の文化、山麓やウォーターフロント、河川などの地形的な魅力を生かし、水とみどり、文化の豊かな、愛着と誇りのもてるまちづくりを進めるとともに、学生や来街者との交流から生まれる活力をまちづくりに生かしていくことも重要である。

また、震災では東西方向の交通への依存の高さが都市活動の停滞をもたらし、救援・復旧活動にも多大な影響を及ぼしたことから、今後は東西の交通の強化・多重化を図るとともに、神戸の特性である港・海の活用や海上都市との連携の強化、六甲山の北側との連絡動線の強化など、災害に強い都市構造の形成を図ることも重要な課題である。

(魅力ある都市型住宅地としての復興)

良好な住宅地としての特性を生かし、魅力ある住宅地の復興と、副都心や生活拠点でのターミナル機能や文化・商業機能の強化を図り、利便性の高い快適な都市型住宅地の形成をめざす。

(豊かな自然・文化環境の活用)

恵まれた自然環境を生かし、山麓部やウォーターフロント、河川などを身近に自然とふれあえる憩いの空間として整備するとともに、公園や文化施設、伝統的資源などを結ぶ歩行者動線を強化し、水とみどり豊かな、文化の香り高い市街地の再興をめざす。

(地域の個性・魅力を生かした交流の促進)

大学や酒蔵など地域の個性を生かし、愛着と誇りのもてるまちづくりを進めるとともに、企業や学生、来街者等との交流を深め、まちづくりを担う新たなエネルギーの創造を図る。

2 復興まちづくりの方向

(1) 総合的な住宅・住環境整備の推進

良好な住宅地としての特性を生かし、公的住宅の整備とともに民間活力の積極的導入を図り住宅の大量供給を促進する。また相談体制や融資制度を充実し、戸建て住宅やマンションの再建を支援するとともに、木造住宅の密集する地域等では住環境整備とあわせて共同化・協調建替を促進するなど良好な住宅地への再生を促進する。

東部副都心の中心である六甲道駅周辺では、市街地再開発事業や土地区画整理事業を活用し副都心機能の充実を図るとともに、道路や公園などの都市基盤と都市型住宅の復興を一体的に進め、周辺地区では、住宅市街地総合整備事業を活用し、公的住宅の重点的供給を行うとともに、民間事業者の活力を生かした住宅供給を促進する。

また、森南地区、東灘山手地区、河原西地区では土地区画整理事業を活用し、都市基盤の整備を進めるとともに住宅の再建を促進し、良好な住宅地の形成を図る。

(2) 快適で利便性の高い市街地の形成

副都心、生活拠点の整備、生活拠点を結ぶ生活文化軸の形成を進め、自立性の高い安全で快適な市街地の形成を図る。

六甲道駅周辺地区では再開発事業等にあわせて行政・商業・文化・防災機能等副都心にふさわしい多様な都市機能の導入を図るとともに、公園や緑道等の整備、阪急六甲駅からJR六甲道駅、阪神新在家駅を結ぶ歩行者動線を強化し、副都心機能の強化を図る。

JR住吉駅周辺地区では市街地再開発事業等にあわせて生活拠点機能の強化を図るとともに住吉川との連絡を強化し、一体となった拠点の形成を図る。

森南地区ではJR新駅（計画）の設置にあわせた駅前広場等と生活拠点にふさわしい機能の導入を図る。岡本や深江、水道筋など、その他の生活拠点についても、地域のまちづくりにあわせて機能の充実を図るとともに、生活拠点を南北に結ぶ生活文化軸の形成を進め、災害にも強い自立性の高い生活文化圏の形成を図る。

(3) 安全な都市づくりの推進

地震や高潮、水害や土砂災害、火災など多様な災害に備えるとともに、河川や街路等を活用して“水とみどりのネットワーク”を形成し、安全で快適な都市基盤の形成を図る。

区役所の機能強化と行政機関、医療機関等との連携を深め、区の防災総合拠点の形成を図るとともに、瀬戸公園や王子公園等の防災機能の強化、海のアクセスポイント（緊急対応用係留施設）の整備等を進め、相互の連携を強化し、災害に強い都市基盤の形成を図る。

JR六甲道駅周辺や森南地区等では、市街地の整備にあわせて公園と防災拠点施設の整備を進め、防災支援拠点としての活用を図る。

また、学校と公園との一体的整備を進めるなど、地域の防災拠点の形成を図るとともに、ふれあいのまちづくりや学校などを拠点とする交流等を通じて安心を育むコミュニティの形成を促進する。

(4) “水とみどりのネットワーク”の形成

河川や生活文化軸を中心とした南北方向と、街路、山麓部、臨海部の整備による東西方向の緑地軸により“水とみどりのネットワーク”を形成する。

南北方向では、住吉川、石屋川、都賀川など、親水性と緊急時の水の利用を考慮した水辺の整備を図るとともに、河川、公園・緑地、道路等の一体的整備を進め、河川緑地軸を形成する。あわせて河川愛護活動やイベントを通じたコミュニティの形成を促進する。住吉川では河川の整備、住吉川右岸線・左岸線の整備や緑化の推進等を一体的に進め、文化施設の集積を生かした東灘の山手と浜手を結ぶ文化軸の形成を図る。

また、街路の整備や緑化の推進等により南北の動線強化を進め、生活文化軸の形成を図る。

東西方向では山手幹線の強化、国道2号、国道43号の緑化・沿道不燃化等を促進し、街路緑地軸の整備を図る。

山麓部では、防災とまちづくりが一体となった治山砂防事業を推進するとともに山麓部を東西方向に結ぶ歩行者動線を強化し、山麓緑地軸の形成を図る。

臨海部では、高潮・浸水対策等の災害対策を推進するとともに、東部新都心から深江にいたる臨海部では、周辺の港湾機能との整合を図りながら順次、市民が親しむウォーターフロントとして東西方向に結ぶ臨海緑地軸（なぎさ海道）の形成を図る。また海のアクセスポイントを整備するなど市街地と連携した防災機能の向上を図る。

また、王子公園や瀬戸公園等を防災機能をもつ公園として再整備し、住吉川の河口部の公園整備など“水とみどりのネットワーク”の結節点に個性ある公園を整備するとともに、緑地軸と文化施設や魅力資源、公園等を結ぶ歩行者動線の強化を図る。

(5) 産業や文化を生かしたまちづくり

地域に根ざした酒造業から生まれた酒文化や大学との交流、祭を生かしたまちづくりなど地域にある固有の文化や魅力を生かした協働によるまちづくりを推進するとともに、個性豊かなまちや区内に点在する魅力資源を結ぶ“ふれあいの道”などの歩行者動線を強化し、それぞれの地域の魅力を生かした回遊性の高いまちづくりを進める。

浜手地域では、酒蔵などの歴史資源の再建や街なみ景観の形成を図り、産業の振興と地域の魅力づくりを一体的に推進する。

また、文教のまちとして大学や短大、各種の学校との連携を深め、学生と地域との交流を促進するとともに、学生やボランティアがまちづくりに参加しやすい環境づくりを進める。

(6) 協働のまちづくりの推進

岡本、深江、味泥、新在家南、水道筋地区などでは住民の主体的なまちづくり活動が展開されてきた。今後もこれらのまちづくりを支援するとともに、復興に向けてまちづくりの気運が高まっている地域では、まちづくり協議会の組織化や活動の支援、コンサルタントの派遣等を通じて復興のまちづくりを協働で推進する。

また、まちづくりの専門家や学生などが参加しやすい環境づくりを進め、まちづくりに新たな活力を導入し、協働のまちづくりの多様な展開を図る。

東部副都心軸の整備

〔目 的〕

J R六甲道駅周辺の整備にあわせて、行政機能の強化、文化・交流施設等の導入等副都心としての拠点機能の充実を図るとともに、阪急六甲、阪神新在家との連携を強化し、文教の交流拠点として東部副都心軸の形成を図る。

また、シンボリックな公園や水と緑のモール（遊歩道）の整備、質の高い都市景観の形成など快適で魅力的な空間を創造し、周辺の良い市街地整備を先導するとともに、防災拠点機能の強化、避難路の確保、不燃化の促進等により防災拠点としての副都心軸の形成を進める。

〔計画概要〕

J R六甲道駅周辺では、市街地再開発事業、土地区画整理事業を実施し、多様な住宅供給と住環境の整備を一体的に進め良好な市街地の形成を進めるとともに、商業・業務、行政、文化機能等の多様な都市機能の集積を図り、東部副都心の機能を強化する。また、池やせせらぎなどの水とみどりの豊かな市民の憩いの場となる防災機能をもつシンボル公園を整備し、副都心機能と一体となった防災支援拠点の形成を図る。

阪急六甲駅周辺では、大学等の集積を生かし、教育・文化ゾーンを形成し、阪神新在家駅から臨海部にかけての一带では、ウォーターフロント空間や酒蔵の道と連携し、良好な住宅の整備や集客核の形成を進める。

南北の水と緑のモールの整備、八幡線の整備等、南北方向の動線の強化を図るとともに、周辺街区の不燃化と良好な都市景観の形成、ゆとり空間の確保、公園のネットワーク化等により快適性の高いシンボル空間を形成するとともに防災緑地軸としての機能強化を図る。

〔主な事業〕

- 六甲道駅西地区土地区画整理事業
- 六甲道駅南地区市街地再開発事業
- 桜口町3丁目地区市街地再開発事業
- 六甲地区住宅市街地総合整備事業
- 水と緑のモールの整備
- 八幡線の整備
- 公園・緑地の整備
- 防災緑化重点地区の指定
- 新在家南地区まちづくりの推進

住吉川河川緑地軸の整備

【目 的】

住吉川は六甲山麓と海を南北に結び、周辺には文化施設が集積する自然・文化環境に恵まれたシンボリックな河川である。

この住吉川を自然との共生をテーマに、文化性豊かな市民の憩いの場として活用するとともに、避難路の確保、区役所をはじめとする行政機能との連携の強化、非常時の水の確保、緊急車両の通行等、災害に強い都市づくりを先導するモデルとして河川緑地軸の整備を図る。

【計画概要】

住吉川右岸線・左岸線を整備し南北の連携を強化するとともに、快適性に優れた緑豊かな歩行者空間の確保を図る。

河口部に自然環境を取り入れた親水性のある公園を整備し、自然生態に配慮した河川整備を進めるなど、自然とふれあえる親水空間としての活用を図るとともに、緊急時の水の確保に配慮した水辺空間の整備を進める。

あわせて河川での自然環境学習の実施、河川愛護活動やイベントの支援など、市民団体との協働による親しめる河川づくりを進める。

海に向けての眺望や、石積護岸と松の樹々の調和した美しい自然景観を生かし魅力ある都市景観の形成を図るとともに、河川沿いの白鶴美術館や倚松庵、下流部の酒蔵や酒造資料館などの文化資源の再生・活用、歩道の整備や駅との連絡動線の強化等により回遊性の高い文化軸の形成を図る。

また、JR住吉駅周辺の再開発や行政機能の充実等により区役所周辺の拠点機能を強化するとともに、住吉川の河川敷を緊急車両の通行が可能なように整備するなど河川空間を活用した防災緑地軸の形成を図る。

【主な事業】

- 自然環境、親水性と緊急時の水の利用を考慮した水辺の整備（防災ふれあい河川）
- 河口部の親水公園の整備
- 自然環境学習の推進、河川愛護活動やイベントによる親しめる河川づくり
- 上流部におけるゆとり空間を利用した砂防林の整備
- 風致地区等の活用による民有地の緑地保全
- 東灘区役所の機能強化、住吉駅周辺の再開発、住吉川との連絡動線の強化
- 住吉川右岸線、左岸線の整備にあわせた緑化、歩行者空間の確保
- JR、阪神、六甲ライナー等の駅との連絡動線の強化
- 六甲アイランドへの歩行者動線の整備

なぎさ海道（臨海緑地軸）の整備

【目 的】

東部新都心から深江浜を結ぶ海岸沿いでは、背後の酒を生かすまちづくり等と連携しながら、緑地やゆとり空間の確保、市民の憩い楽しむ空間としてのウォーターフロントの活用を進め、より魅力的な環境を創造し、水とみどりに親しむなぎさ海道（臨海緑地軸）の形成を図る。

あわせて緊急時の海のアクセスポイント（緊急対応用係留施設）や河口部の公園整備、避難路の確保等、臨海部を活用した都市の防災性能の向上を図る。

【計画概要】

周辺の港湾機能との整合を図りながら、安全で気軽に楽しむことのできるウォーターフロントプロムナード（海辺の遊歩道）を順次整備し、河口部の公園・緑地や階段護岸の整備とあわせて水とみどりに親しむなぎさ海道の形成を図る。

なぎさ海道に沿って、酒と食文化の拠点、海洋性レクリエーション拠点、東神戸大橋の景観を活用した魅力空間づくりなど、地域の特性を生かした拠点の整備を進める。

また、フェリーバースの耐震化や海のアクセスポイントの整備など港湾機能を活用した防災拠点の整備を進めるとともに市街地との連携を強化し、港湾都市神戸の特性を生かした災害に強い都市基盤の形成を図る。

【主な事業】

- 東部新都心ウォーターフロント整備（水際広場・ハーバーウォーク等）
- ウォーターフロントプロムナードの整備
- 親水空間の整備と水質環境の改善促進
- 住吉川河口部の親水公園整備
- 東灘下水処理場の上部の公園的整備
- 東神戸フェリー埠頭の魅力化
- フェリーバースの耐震化
- 瀬戸公園の防災機能の強化

酒を生かすまちづくりの推進

【目 的】

浜手地域は、古くから魚崎郷、御影郷、西郷として日本を代表する酒造業が展開され、多くの食品製造業等が集積するなど、独特の酒文化・食文化を培ってきた。地域に残る酒蔵などは、伝統を象徴する文化資産としてまちの人々の誇りとなり、個性豊かなまちなみを形づくってきた。震災ではこれらの資産が大きな被害を受けたが、「酒を生かすまちづくり」を協働により推進し、伝統と地域に根ざした産業の振興と魅力と個性あるまちの復興を一体的に進める。

【計画概要】

震災で大きな被害を受けた酒造業関連施設等の再整備を促進し、共同化・協業化等により産業の高度化・活性化を図るとともに、酒蔵のある伝統的な景観・雰囲気への継承・発展を図り、居住・生産・商業機能が調和した魅力あるまちの形成を図る。

まちの再建にあたっては「酒を生かすまちづくり懇談会」を通じてガイドプランを作成し、昔ながらの黒い板塀、板壁やレンガ造の倉庫等の雰囲気を残したまちなみの再生・創造をめざすとともに、それに合わせた酒蔵の道の整備を進めるなど、酒蔵施設の修景、沿道のまちなみ景観整備を支援する。

また、まちの復興にあわせて酒蔵を生かしたイベントを開催するなど、市民と産業の交流を深めるとともに、酒蔵のまちの魅力を全国にアピールできるようなまちづくりを推進する。

【主な事業】

- 酒を生かすまちづくり懇談会の開催とガイドプランの作成
- 酒蔵景観の再生、誘導
- 酒蔵の道の整備
- 重点地域における拠点形成の促進
- 酒蔵を生かしたイベントの開催

大学のあるまちづくりの推進

【目 的】

東部市街地には山手地域を中心に多くの大学等が集積し、アーバンリゾートフェアを契機に大学とともに地域のまちづくりを考える取り組みも始まりつつあった。

震災では、大学等との連携や学生のボランティア活動など、今後のまちづくりには欠かせない大きな気運が生まれている。

この気運を大切に育て、大学等との連携を深めるとともに、地域の人々と学生の交流から生まれる貴重なエネルギーをまちづくりに生かす環境づくりを進め、協働による文教のまちづくりを推進する。

【計画概要】

シンポジウムの開催や連絡協議会の設置など、まちづくりをともに考える機会を充実するとともに、学生等がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進める。

大学との連携により、共同利用施設などの交流拠点を整備し、学生の地域活動への参加や、大学と地域の各種行事を通じた相互交流を促進する。また、地域学の共同研究や公開講座の充実、大学施設や研究機能の活用など、大学の協力による生涯学習を通じた交流の場づくりを進め、交流や活動を通じて市民と大学、市の連携を高め、学生のボランティア活動を促進し、イベントや参加型のまちづくり手法（ワークショップ方式等）などを活用したまちづくりの展開を図る。

また、東部に多く居住し学ぶ留学生との交流を促進し、身近な国際交流を進めるとともに、留学生等が生活しやすい環境づくりを進める。

六甲アイランドでの各種人材育成機関（いわゆる観光大学等）の誘致など大学や各種の専門学校の新たな集積の促進、研究学園都市でのまちづくりや他都市での大学との連携によるまちづくりとの交流など、広域的な展開を視野にいれた文教のまちづくりを進める。

【主な事業】

- シンポジウム等の開催、大学・地域団体・行政等で構成する連絡協議会設置
- 大学との協力による交流拠点の整備
- 学生等の地域活動への参加の促進
- 大学と地域の各種行事への相互参加促進
- 生涯学習の場としての大学施設・機能の活用
- 留学生との交流の促進と生活しやすい環境づくり
- 地域学等の共同研究の推進
- 六甲アイランドでの各種人材育成機関（いわゆる観光大学等）の誘致など大学・専門学校等の集積の強化

第4節 西部市街地復興計画

1 地域復興の視点

兵庫では港を通じて発展した産業と、それを支える企業群が、長田ではケミカルシューズ産業をはじめとする地場産業が、地域に根ざした商店街・小売市場、利便性の高い住宅群と共存し、にぎわいのあるまちとして発展してきた。また須磨は、山と海が近接し、須磨浦公園や離宮公園、海浜公園や歴史・文化資源など自然と文化に恵まれた住宅地として発展し、それぞれに豊かなコミュニティを形成してきた。

しかし、生活道路など公共施設の整備が進まず、住宅の老朽化が進む地区を中心に、人口の減少や高齢化が進行するなどいわゆるインナーシティ問題がおり、また国際競争の激化、円高等の経済環境の変化により産業の停滞化が進むなど、都市活力の低下が懸念されていた。震災では、長田区を中心に火災により広範囲の市街地が焼失するなど、インナーシティに特に被害が集中し、ケミカルシューズ産業や商店街・小売市場なども甚大な打撃を受けた。

復興に向けては、インナーシティ問題を念頭に置きながら総合的な基盤整備を進め、利便性の高い都市居住の場として、安全で快適な住宅・住環境の確保を図るとともに、蓄積された技術や知識を生かした産業の振興、地域に根ざした商店街・小売市場の再生を図り、適切な土地利用のもとに住・商・工が互いに魅力を高めあう活力あるまちづくりを推進していかなければならない。また地域に培われてきた文化を生かし、協働のまちづくりを進め、震災に際して大きな力を発揮した地域コミュニティの再生を図り、やさしさとぬくもりのあるまちづくりを進めることも重要である。

(住・商・工の調和のとれた活力ある復興)

住宅の供給・再生と良好な住環境の形成を一体的に進めるとともに、地域に根ざした産業の振興、商店街・小売市場の活性化を図り、住・商・工が調和した、利便性の高いにぎわいのあるまちづくりを進める。

(安全で快適な市街地の形成)

密集地区における公共空間の確保や良好な住宅・住環境の整備を進め、災害に強い安全な街区づくりを進めるとともに、水とみどりを活用した快適性の高い空間を創出し、道路や鉄道などの交通網の整備を進めるなど、安全で快適に暮らすことができる魅力ある市街地の形成を図る。

(豊かな心を育むコミュニティの醸成)

市民相互の自主的な助け合いが行われるなど、震災では地域のコミュニティが大きな役割を

果たした。また震災を契機に諸外国の人々との交流も一層深まりつつある。これらの交流を大切に育て、すべての人が暮らしやすい環境づくりを進めるとともに、高齢者や若者、外国人など様々な人々が交流する豊かなコミュニティを醸成し、ぬくもりのある地域づくりを進める。

2 復興まちづくりの方向

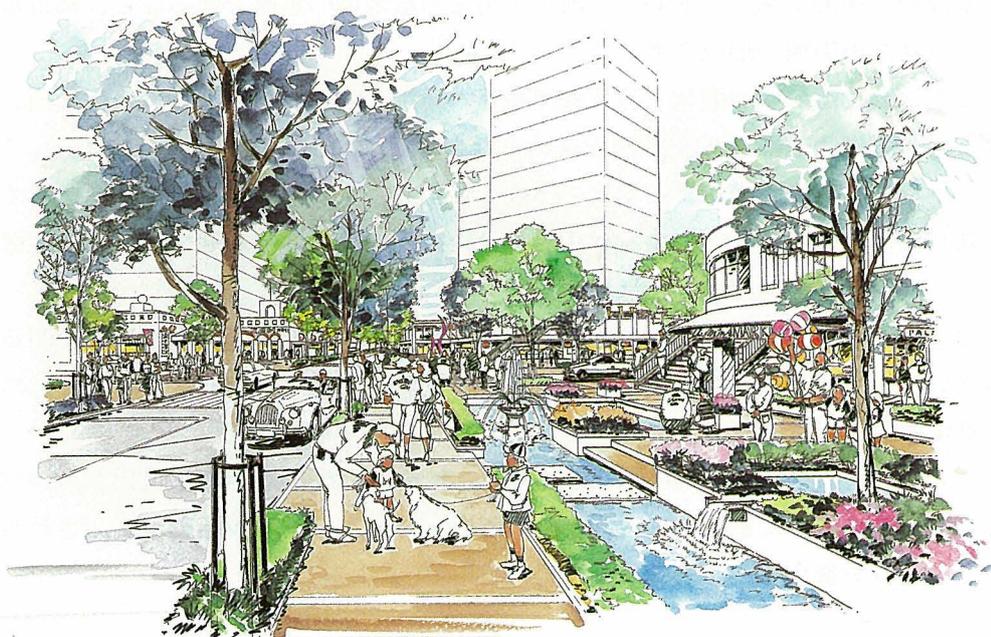
(1) 総合的な住宅・住環境整備の推進

公的住宅の整備や民間活力の導入により住宅の大量供給を促進する。住宅整備にあたっては、保健・医療・福祉サービスとの連携を強化し、在宅福祉の基盤となる住まいづくりを進め、高齢者等が安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、家族向けの優良な賃貸住宅等の供給を促進するなど、活力あるまちづくりを進める。また、住宅が密集する地区では共同化・協調建替・不燃化等を促進し、生活道路や公園の整備を一体的に進めるなど、安全で快適な住環境の形成を図る。

新長田周辺では、土地区画整理事業や市街地再開発事業を活用し都市基盤整備を進めるとともに、住宅市街地総合整備事業とあわせて公共住宅の重点供給や共同化、協同建替による住宅再建を促進する。

御菅、松本周辺、浜山、長田・大開、大道周辺、真陽地区等では、土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業等を活用し、生活道路など身近な公共空間の整備と住宅の整備を進める。

また、キャナルタウン兵庫では、住宅市街地総合整備事業を活用し、生活利便施設の整備にあわせて大量の住宅供給を図る。



イメージ図

(2) 利便性の高い市街地の形成

副都心、生活拠点、生活文化軸等の整備を進め、自立性の高い生活文化圏の形成を図る。あわせて、道路・鉄道の整備を進め、安全で利便性の高い市街地の形成を図る。

新長田駅周辺では、再開発事業等に合わせてターミナル機能を強化するとともに、商業・業務・文化等の副都心にふさわしい機能の導入を図る。また、商店街・小売市場の振興、防災機能をもったシンボリックな公園や五位池線の整備等により安全で魅力的な空間の創出を図るとともに、北部の板宿周辺や西代公園、臨海部の長田港等との連携を強化し、副都心機能の充実を図る。

湊川公園周辺では区役所の機能強化、湊川公園の再整備、商店街・小売市場等の近代化などを一体的に進めるとともに、新開地本通り周辺では文化・芸術を生かしたまちづくりと良好な住宅整備を推進し、湊川公園から新開地、ハーバーランドをつなぐ個性豊かな文化軸の形成を図る。また、その他の生活拠点についてもまちづくりにあわせて都市機能の強化を図る。

また、市街地南部と都心を結ぶ地下鉄海岸線を建設し、駅を核にしたまちづくりを推進するとともに、中央幹線、山麓線等の東西道路、国道28号（長田線）、五位池線、須磨多聞線、千森線等の南北道路の整備を進め、利便性が高く、災害に強い都市基盤の形成を図る。

(3) 安全で快適な市街地の整備と自立性の高い防災生活圏の形成

地震や高潮、水害や土砂災害、火災など多様な災害に備えるとともに、被災市街地の整備、住宅密集地区等での住環境の改善を進め、生活道路や公園などの公共施設の整備と良好な住宅の整備を一体的に進め、あわせて河川や街路の緑地軸の整備を図るなど、都市基盤の整った安全で快適な市街地の形成を進める。

また、区役所の機能強化と行政機関相互の連携の強化、御崎公園や西代公園、大阪ガス跡地などで防災拠点となる公園整備を進めるなど防災拠点の形成を図るとともに、“水とみどりのネットワーク”の整備により相互の連携を強化し、災害に強い都市構造を構築する。

新長田周辺やキャナルタウン兵庫等では市街地の整備にあわせて公園と防災拠点施設の整備を進め、防災支援拠点として活用する。

また、学校と公園との一体的整備を進めるなど、地域の防災拠点の形成を図るとともに、ふれあいのまちづくりや学校などを拠点とする交流等を通じて安心を育むコミュニティの形成を促進する。

さらに、住・商・工の共存する地域では、事業者との連携を深め、日常からの交流を促進し、まちづくりをともに進めるとともに、災害時には協力して防災活動が展開される防災コミュニティづくりを進める。

(4) まちづくりと一体になった産業の振興

土地区画整理事業や地区計画制度等を活用し適切な土地利用を誘導するとともに、市民生活

を支える商業・コミュニティ拠点として商店街・小売市場の活性化を図り、工場の集約化・共同化を促進し、都市型地場産業の高度化・情報化（ファッション化）を進めるなど、住・商・工の調和のとれた活力ある復興を進める。

臨海部では、土地利用転換に伴う遊休地等を活用し、新たな産業誘致や既存産業の再配置を行い、市街地の復興と連携のとれた整備を進める。

(5) 水とみどりのネットワークの形成

南北方向では、新湊川、妙法寺川、天井川で河川沿公園の整備、防災機能を付加した水辺空間の整備等を進め、区役所や集客施設等を結ぶ河川緑地軸を形成する。また、国道28号（長田線）、五位池線、須磨多聞線、千森線等の動線の強化、緑化・不燃化の促進等により街路緑地軸の整備を図る。

東西方向では、中央幹線や山手幹線等の整備を進め街路緑地軸の形成を図るとともに、臨海部では、須磨海岸や海浜公園の整備、長田港の再開発、兵庫運河のキャナルプロムナードの整備など市民の憩いの場を創造し、それらをつなぐ臨海緑地軸（なぎさ海道）の整備を進める。さらに、高潮・浸水対策の強化、兵庫突堤の再開発による港湾の防災拠点の整備、耐震強化岸壁の整備、須磨海岸の防災拠点化など海・港を活用した災害に強い基盤づくりを推進する。山麓部では防災とまちづくりが一体となった治山砂防事業を推進するとともに、山麓部を東西につなぐ歩行者動線を強化し、山麓緑地軸の形成を図る。

また、拠点的な公園として、御崎公園、西代公園、大阪ガス跡地等を防災機能を付加した特色ある公園として整備するとともに、公園や観光資源等を結ぶ歩行者動線を強化し、“水とみどりのネットワーク”の形成を図る。

(6) 地域の魅力と文化性豊かな個性あるまちづくりの推進

個性を生かした拠点づくりを進めるとともに、文化・歴史・観光資源等を結ぶ歩行者動線を強化し、回遊性の高い魅力あるまちづくりを進める。

新開地では、アートビレッジ構想を推進し、文化・芸術を生かしたまちづくりを推進する。

新長田駅周辺では、アジア文化やボランティアとの交流の拠点として国際ボランティア文化交流センターを整備する。また、くつのまちとしての歴史を生かし、産業と結びついた地域の魅力づくりを進める。

兵庫運河周辺では、キャナルプロムナード（運河沿いの遊歩道）の整備や産業観光地づくりを進めるとともに、これらを結ぶ兵庫津の道の整備を進める。

松本周辺地区等では、参加型のまちづくり手法（ワークショップ方式等）による公園づくり、下水高度処理水を活用したせせらぎづくりなど個性ある空間づくりを進める。

また、須磨寺や離宮公園などの歴史資源に恵まれた須磨南部では、歴史と文化を生かしたまちづくりを進める。

(7) まちづくり文化を継承した協働のまちづくりの推進

西部市街地では、早くから生活環境の改善や住環境の向上、福祉のまちづくり、商店街・小売市場の振興、住・商・工の調和のとれたまちづくりなど、様々な課題に対して地域における市民の主体的なまちづくり活動が活発に展開されてきた。長年にわたり培われてきたまちづくりの文化を継承し、すでに活発に活動している地域ではまちづくり協議会との連携を深め、また、復興に向けて新たにまちづくりの気運が高まっている地域ではまちづくり協議会の組織化を図り、活動の支援や専門家の派遣等を通じて計画づくりを支援し、協働によって復興のまちづくりを推進する。

また、震災を契機に活発に展開されたボランティア活動や諸外国の人々との交流を大切にし、国際ボランティア文化交流センターを設置するなど活動の拠点づくりを図るとともに、外国人との交流を深め、高齢者や障害者、外国人などすべての市民が安心して暮らせる環境づくりを進める。

西部副都心軸の整備

〔目 的〕

新長田周辺の整備にあわせて、良好な住宅・住環境を創造するとともに、商業・業務・文化等の都市機能の集積、ターミナル機能の強化を図り、住・商・工の共生するまちの中心として、利便性の高いにぎわいのある拠点形成を進める。

また、臨海部や板宿周辺との連携を強化するとともに、南北に結ぶ軸を海につながる快適性の高いシンボル軸として整備し、周辺の市街地整備を先導する。あわせて防災機能を備えた公園の整備や避難路の確保、不燃化の促進等により、防災拠点となる副都心軸の形成を図る。

〔計画概要〕

新長田駅周辺では、市街地再開発事業や土地区画整理事業により、商業・業務・文化等の都市機能の集積を図るとともに、商店街・小売市場の近代化・共同化等と、住宅・住環境の整備を一体的に進め、住・商・工の共生した魅力ある生活しやすいまちの復興を進める。また、震災を契機に深まった諸外国の人々やボランティアとの交流を育み、民族文化の交流を促進する拠点として国際ボランティア文化交流センターを整備する。さらに、駅前の一体的整備や地下鉄海岸線の駅舎の建設とともに、歩行者動線の整備を行うことにより、新長田駅のターミナル機能の強化を図る。

再開発で整備される公園については、日常的には市民の憩いの空間として、また商店街・小売市場と一体となったにぎわいの場としての活用を図るとともに、緊急時には区画整理で整備される公園と連携し、防災支援拠点として活用する。また、西代公園を再整備し、特色ある公園を結ぶネットワークの形成を図る。臨海部では、ウォーターフロントの拠点として、長田港では港の機能と調和のとれたマリーナの整備を、大阪ガス跡地では集客施設等の整備を図る。

〔主な事業〕

- 新長田・鷹取地区土地区画整理事業
- 新長田地区住宅市街地総合整備事業
- 新長田駅南地区市街地再開発事業
- 防災緑化重点地区の指定
- 新長田駅前地区市街地再開発事業
- 南北の歩行者動線の強化
- 新長田駅前のターミナル機能整備
- 地下鉄海岸線の建設
- 西代公園の再整備
- 長田港・大阪ガス跡地の再整備
- 五位池線の整備

湊川公園・新開地周辺の整備

【目的】

湊川公園や新開地周辺は、映画・演劇など多様な文化と特色のある商業のまちとして、広く市民に親しまれ、特有の文化を培ってきた。これらの地域では震災前からまちづくり協議会などを中心に活発にまちづくりが進められてきた。

復興に向けて、湊川公園や兵庫区役所周辺の総合的な再開発により、市民の交流拠点として、また災害時の防災総合拠点として整備するとともに、新開地周辺では文化・芸術を生かした個性豊かなまちづくりを協働により推進し、居住環境と調和した親しみとにぎわいのある新しい下町文化拠点の創造をめざす。

【計画概要】

湊川公園周辺では、区役所、湊川公園等の再整備、商店街・小売市場の近代化等を一体的に進め、行政機能の充実、保健・医療・福祉との連携の強化、商業機能・文化機能等の充実を図り、にぎわいのある市民の交流拠点を形成するとともに、防災総合拠点としての機能を強化する。

新開地周辺では、演劇・映画・音楽など多様な文化・芸術活動が展開できる場づくりを進め、特色ある商業機能の充実を図るとともに、多様な住宅供給による都心居住を促進し、居住機能と遊空間が調和した個性豊かなまちづくりを進める。

新開地本通り沿道街区等の再開発、共同建替を促進し、商店街・小売市場の活性化、文化・芸術機能の導入、多様な住宅の供給を図るとともに、建築デザインの誘導等による個性的な景観の形成や本通りのモール（遊歩道）化を進めるなど、文化・芸術やショッピングが快適に楽しめる環境づくりと良好な居住環境の形成を一体的に進める。

また、新開地アートビレッジ構想を推進し、市民が気軽に文化・芸術にふれあえる環境づくりを進めるとともに、神戸文化の担い手の育成と文化・芸術の発信拠点の形成をめざす。

さらに、神戸駅周辺やハーバーランドとの連携を強化し、湊川公園周辺と新開地周辺とが互いに魅力を高めあい、都心機能の一翼を担う、個性豊かな文化軸の形成を図る。

【主な事業】

- 兵庫区総合庁舎周辺の総合的な再開発
- 湊川公園の再整備
- 商店街・小売市場の近代化の促進
- 新開地周辺のまちづくりの推進
- 新開地アートビレッジ構想の推進
- 神戸駅周辺地区住宅市街地総合整備事業

新湊川河川緑地軸の整備

〔目 的〕

兵庫・長田の山手を東西に流れ、苅藻川と合流し南北に長田港にそそぐ新湊川は、川底が深く親水空間として十分に活用されていない。この市街地の貴重な水辺空間を活用し、水とみどりに親しめる憩いの空間として整備することにより、周辺の住環境の向上を図る。あわせて交通動線や歩行者動線の確保、緊急時の消火用水等の確保など災害に強い都市基盤の整備を図るとともに、区役所・消防署等の拠点を結び、防災機能の高い緑地軸を形成する。

〔計画概要〕

雪ノ御所周辺から大阪ガス跡地までを、河川沿公園と連携した緑豊かな水辺空間として整備し、水とみどりに親しめる河川緑地軸を形成する。

中央幹線以南では、阪神高速道路神戸山手線（高速2号線）による地下空間の利用にあわせて、地上部に公園や住宅を整備するなど、周辺の住環境の一体的な向上を図る。

また、南北の交通動線を強化し、区役所、消防署等と連携して、防災総合拠点としての機能強化を図る。

長田区役所跡地周辺では、親水性と緊急時の水の利用を考慮した水辺空間の整備を公園整備と一体的に進める。

長田神社周辺から雪ノ御所周辺にかけては河川沿道路等を整備し、東西の動線を強化し、あわせて周辺の住環境の向上を図る。

また、商店街・小売市場との連携、長田神社の歴史や文化や周辺地区の伝統芸能を継承したイベント、河川愛護活動の支援など、特色を生かした親しまれる河川づくりを進める。

〔主な事業〕

- 河川沿公園の整備
- 河川を利用したイベントや河川愛護活動等の促進
- 親水性と緊急時の水の利用を考慮した水辺の整備（防災ふれあい河川）
- 上流部におけるゆとり空間を利用した砂防林の整備
- 苅藻川との合流部の整備
- 新長田地区住宅市街地総合整備事業
- 真陽地区住宅市街地総合整備事業
- 阪神高速道路神戸山手線（高速2号線）の整備にあわせた公園・住宅等の整備

妙法寺川河川緑地軸の整備

[目的]

妙法寺川は、河川沿いに桜並木が整備され、「桜の回廊」として市民に親しまれている。

板宿から須磨区役所を通り、海浜公園へ至る妙法寺川の河川沿いを、公園や区役所などの公共施設、地域資源が一体的となった市民の憩える空間に整備し、地域の発展を誘導するとともに、防災に配慮した河川緑地軸を形成する。

[計画概要]

妙法寺川の河川沿いに「桜の回廊」を整備し、水とふれあえる親水空間を整備するとともに、妙法寺川公園、下中島公園、天井川公園等と一体となった自然に親しむ快適な歩行者空間を確保する。また、区役所周辺で合流する天井川では、住民との協働による美しい川づくりを進める。

須磨区役所周辺の整備、板宿周辺の機能の充実、地域の魅力資源であるJR鷹取工場との連携等、河川沿いの拠点の連携を強化し、魅力ある河川緑地軸の整備を進めるとともに、緊急時における防災総合拠点としての機能強化を図る。

また、妙法寺川と須磨寺や離宮公園、須磨海岸などの魅力資源を結ぶ歩行者動線の強化を図るなど、歴史と文化を生かしたまちづくりと連携した広がりのある地域の魅力づくりを進める。

[主な事業]

- 河川沿公園等の整備
- 桜回廊としての歩行者動線の強化
- 天井川における美しい川づくりの推進
- 河川を利用したイベントや河川愛護活動の促進
- 須磨区役所周辺の整備
- 須磨（板宿）地区土地区画整理事業
- JR鷹取工場との連携の強化
- 歴史と文化を生かしたまちづくりの推進

地下鉄海岸線の整備にあわせたまちづくりの推進

【目 的】

西部インナーシティの復興を促進するため、起爆剤として地下鉄海岸線の整備を進める。また、地下鉄海岸線の建設にあわせて、駅の周辺整備を促進するとともに、沿線の集客施設等の整備、地域資源の活用等により、魅力ある、快適で利便性の高い市街地の形成を図る。

【計画概要】

南部地域の利便性を高め、市街地の復興を促進するため、長田・兵庫南部と都心をつなぐ地下鉄海岸線を建設する。

新長田駅では交通結節点としてターミナル機能を強化し、周辺のまちづくり事業とあわせた拠点機能の充実を図る。

真野、真陽、浜山地区などにおいては、海岸線の整備にあわせて良好な住宅・住環境整備を促進し、利便性の高いまちづくりを進める。

沿線の御崎公園、苅藻島運河や長田港、大阪ガス跡地などでは、再整備・再開発を行い、地域の集客力を高めるとともに、防災拠点として活用するなど、都市の防災力の強化を図る。

沿線地域の整備にあわせて、個性ある駅づくりを進めるとともに、歴史的資源や産業資源など、地域の魅力ある資源をキャナルプロムナード（運河沿いの遊歩道）、兵庫津の道等で結ぶなど、回遊性の高い歩行者動線のネットワークを形成する。

【主な事業】

- 地下鉄海岸線の建設
- 新長田駅交通ターミナル機能の強化
- 新長田駅前地区市街地再開発事業、新長田駅南地区市街地再開発事業の促進
- 大阪ガス跡地の集客施設としての整備
- 長田港再開発
- 苅藻島運河再開発
- 真陽地区住宅市街地総合整備事業
- 真野まちづくりの推進
- 浜山地区土地区画整理事業
- 御崎公園の再整備による防災機能の強化
- 和田岬駅前駐車場の整備
- 兵庫運河、なぎさ海道等の整備にあわせた集客施設の誘致
- キャナルプロムナード、兵庫津の道等の整備
- 地下鉄海岸線の建設にあわせた地下空間の有効活用

「くつのまち：ながた」構想の推進

【目 的】

JR新長田駅周辺に集中しているケミカルシューズ産業の高度化、ファッション化を図り、生産や小売り・情報発信機能を組み合わせることによって、地区の集客力を強化し、「くつのまち：ながた」として、にぎわいと個性のあるまちを形成する。

【計画概要】

市街地整備にあわせて、工場を再配置するとともに、集約化、共同化を促進する。また、製造から小売りまでを視野に入れた製品開発のための研究・研修施設の整備やアンテナショップ（情報発信機能をもった実験的店舗）の設立を支援するなど、デザイン力の向上や産業の高度化を図る。

【主な事業】

- 再開発事業等による工場再配置の促進と工場集約化・共同化の推進
- デザインセンター（研修施設）の整備
- 新長田・鷹取地区土地区画整理事業
- 御菅地区土地区画整理事業
- 新長田駅南地区市街地再開発事業
- 新長田駅前地区市街地再開発事業

国際ボランティア文化交流センターの整備

【目 的】

震災で芽生えた国際的連携やボランティア活動によって培われた関係を継続させるとともに、さらにお互いの伝統・文化を学び、国籍・民族の違いを越えて人権を尊重する内なる国際化の推進並びに国際協力の充実を図る。

【計画概要】

韓国・朝鮮人、ベトナム人など外国人市民が数多く居住し、外国人コミュニティが形成され、民族の伝統・文化が保有され、また、ボランティア活動を通じて、外国のコミュニティとの交流が育ちつつある長田区に交流の拠点をつくり、活動支援を行う。

市民レベルの国際協力を展開するため民間国際協力団体（NGO）間の協力関係を深める場を提供するとともに、行政との連携を促進する。

また、各国コミュニティの民族文化の紹介やアジア料理紹介等イベント活動への支援や開発教育、国際人権講座、日本語教育等を実施する。

さらに、区内で展開されるボランティア活動を支援するため、ネットワークづくりや継続的・長期的活動拠点の提供などを行う区のボランティアセンター等と連携するとともに、ベトナム難民定住者の生活・職業相談及び日本語教育等のアフターケアを行っている財団を支援する。

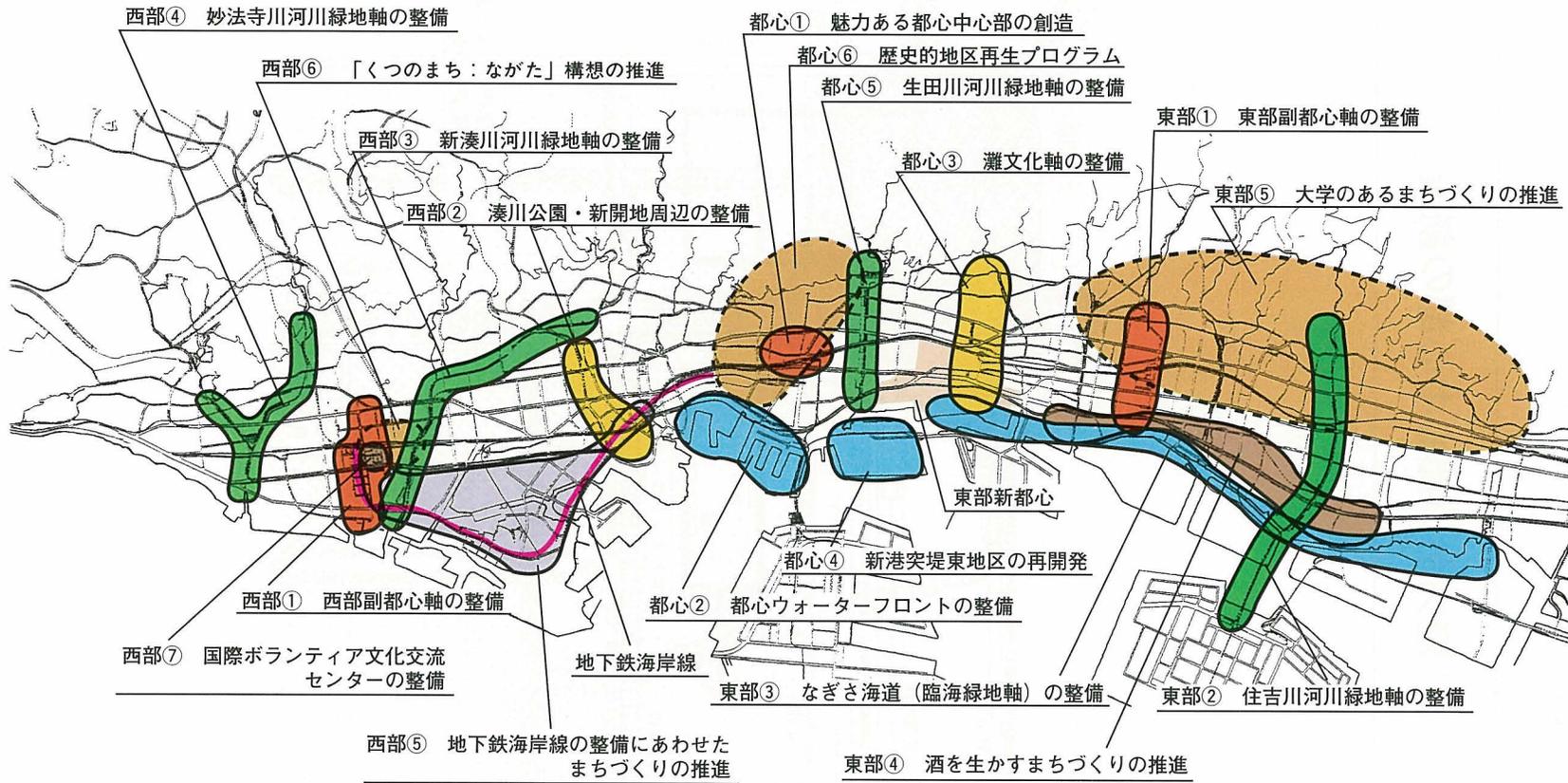
【主な事業】

- 国際ボランティアのネットワーク化
- 文化交流活動への支援
- 区のボランティアセンターとの連携
- アジア福祉教育財団との連携

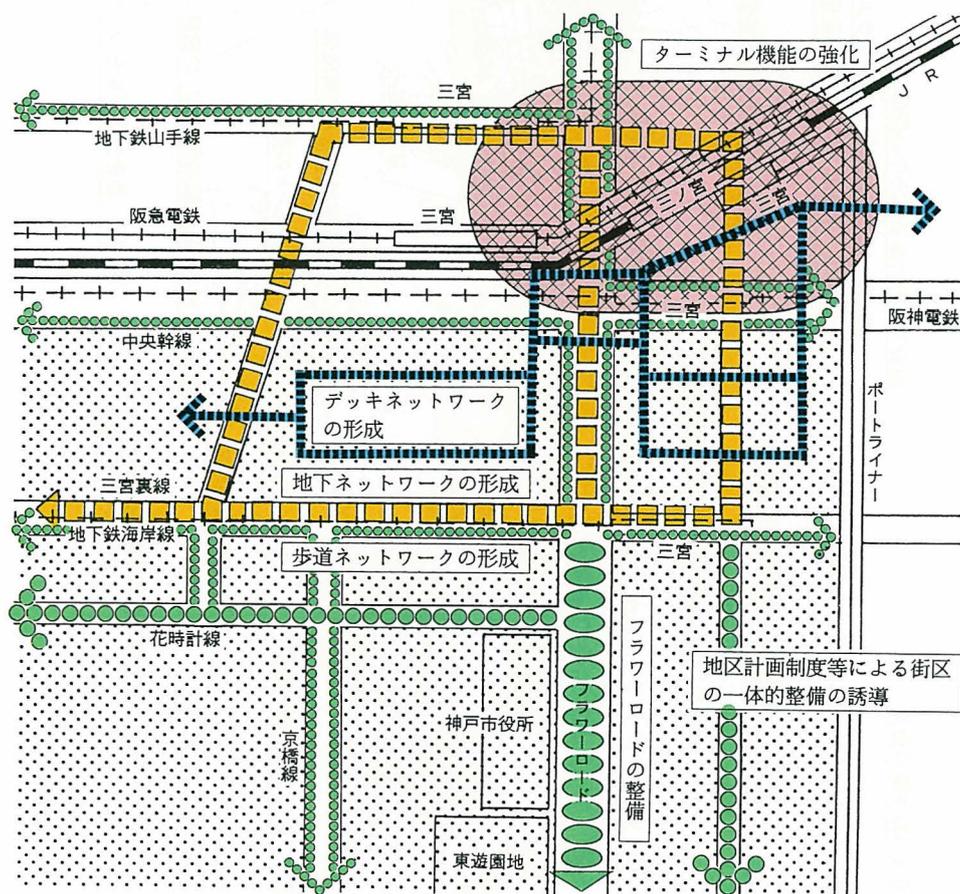
市街地復興計画関連参考図

復興プロジェクト位置図		……162
都心復興プロジェクト	① 魅力ある都心中心部の創造	……163
	② 都心ウォーターフロントの整備	……164
	③ 灘文化軸の整備	……165
	④ 新港突堤東地区の再開発	……166
	⑤ 生田川河川緑地軸の整備	……167
	⑥ 歴史的地区再生プログラム	——
東部復興プロジェクト	① 東部副都心軸の整備	……168
	② 住吉川河川緑地軸の整備	……169
	③ なぎさ海道（臨海緑地軸）の整備	……170
	④ 酒を生かすまちづくりの推進	……170
	⑤ 大学のあるまちづくりの推進	——
西部復興プロジェクト	① 西部副都心軸の整備	……171
	② 湊川公園・新開地周辺の整備	……172
	③ 新湊川河川緑地軸の整備	……173
	④ 妙法寺川河川緑地軸の整備	……174
	⑤ 地下鉄海岸線の整備にあわせたまちづくりの推進	……175
	⑥ 「くつのまち：ながた」構想の推進	——
	⑦ 国際ボランティア文化交流センターの整備	——
主な市街地整備事業位置図		
主な市街地整備事業一覧表		……181

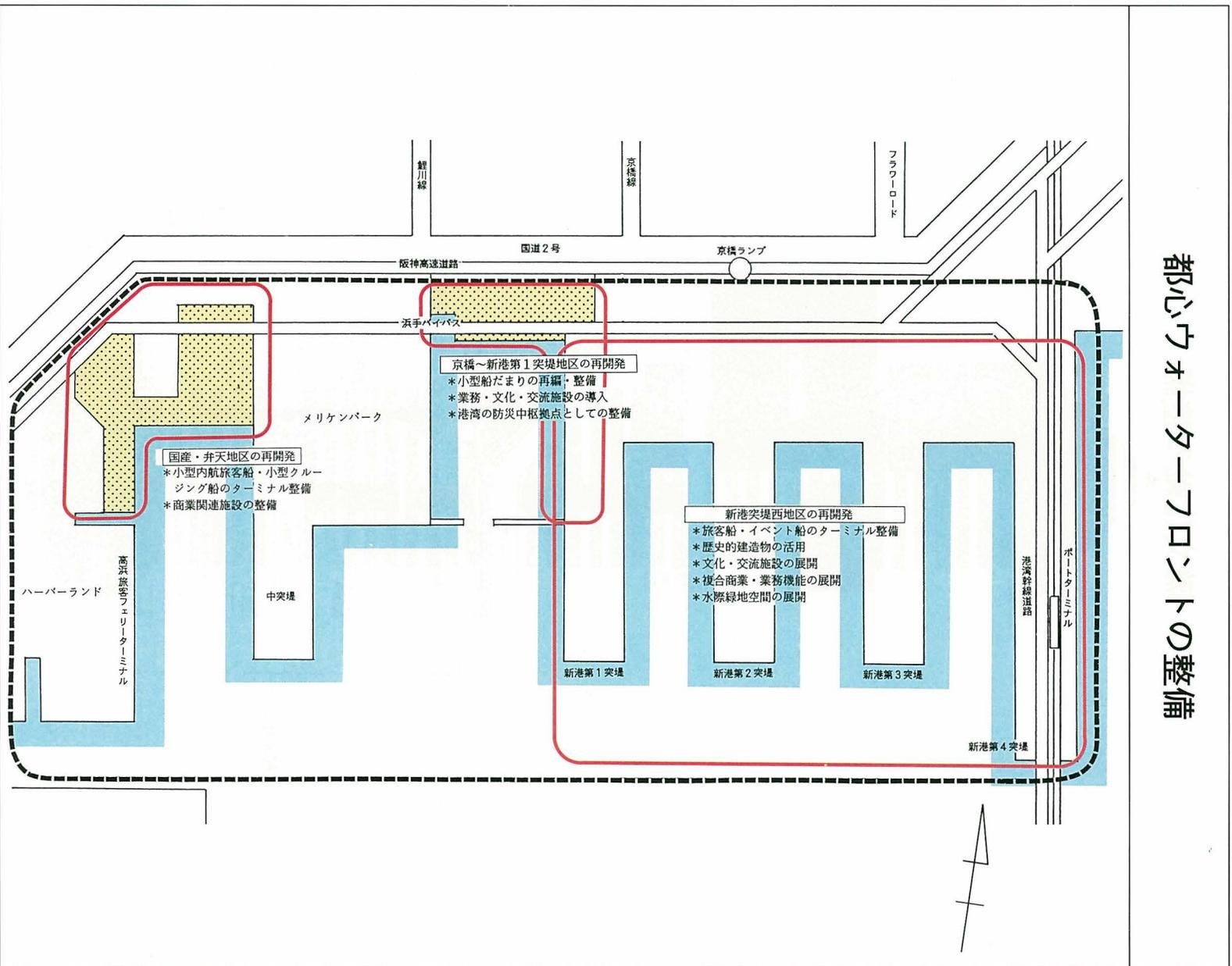
復興プロジェクト位置図



魅力ある都心中心部の創造

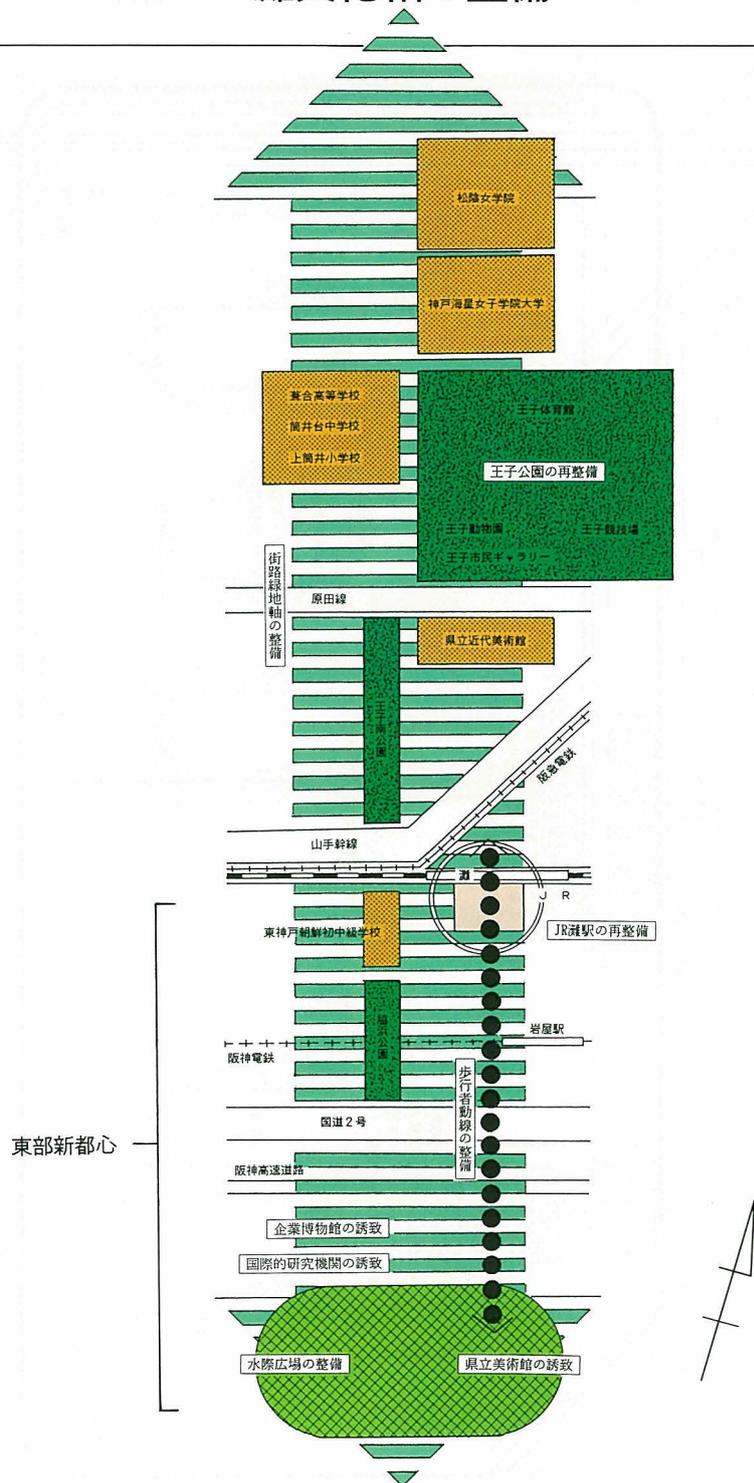


都心ウォーターフロントの整備

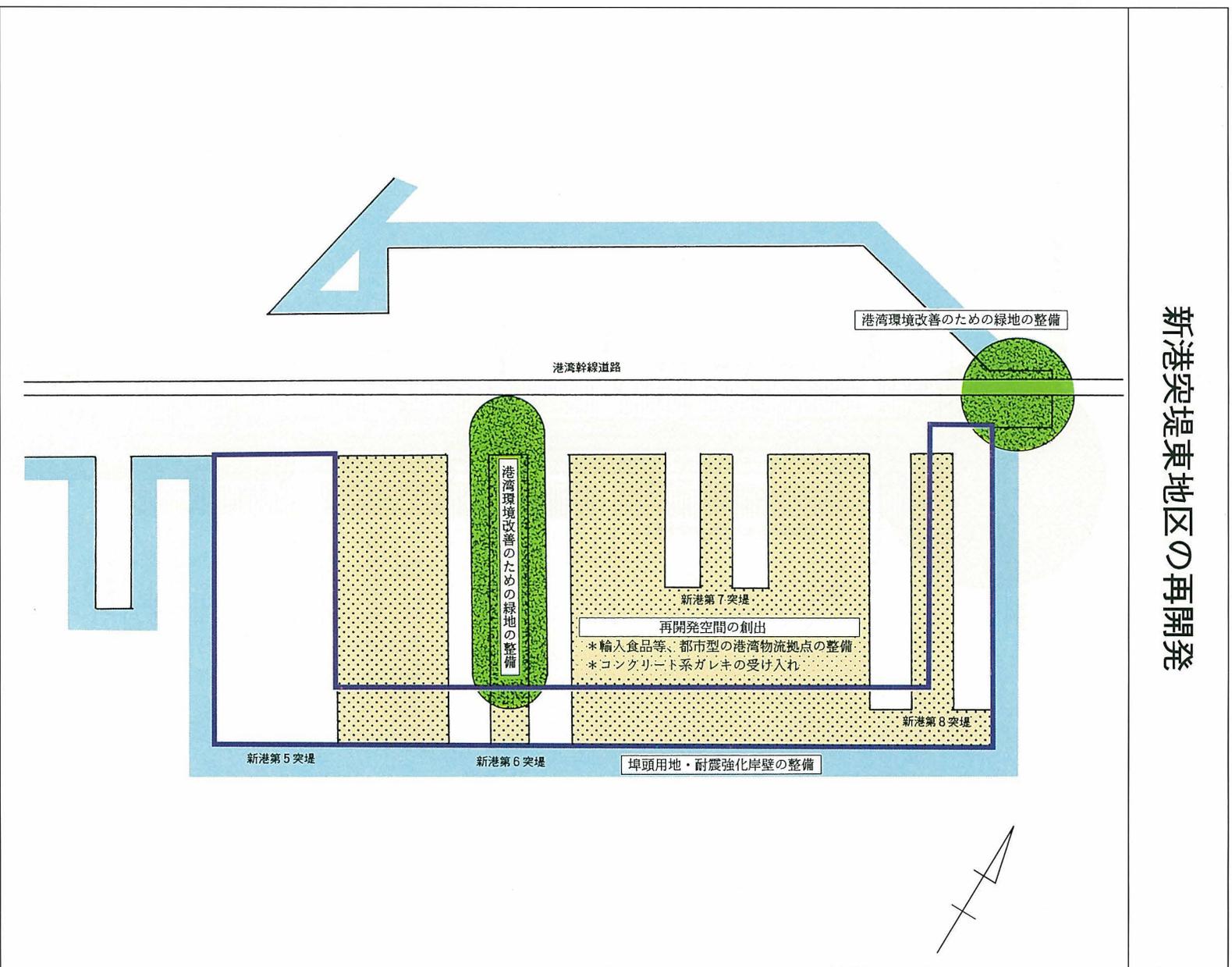


都心復興プロジェクト③

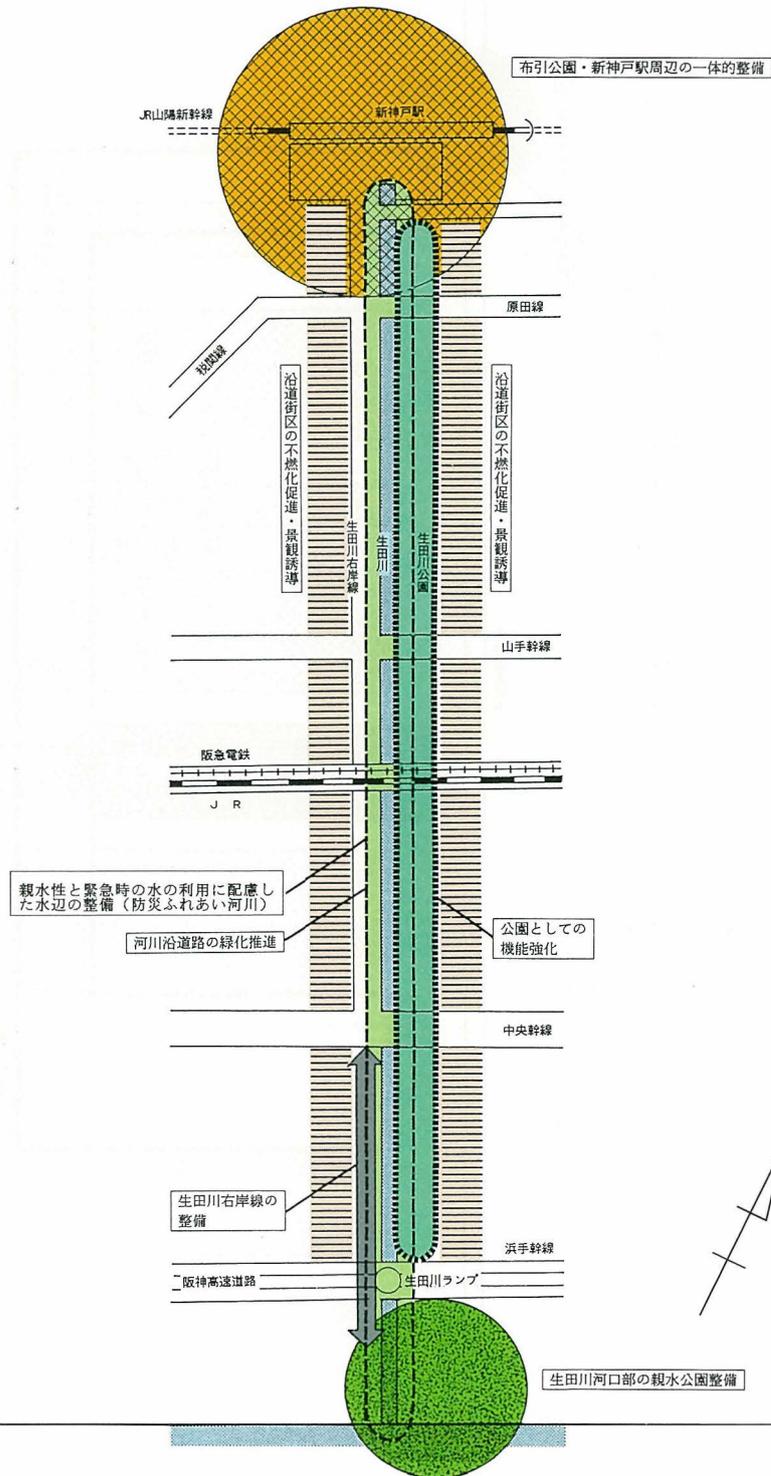
灘文化軸の整備



新港突堤東地区の再開発

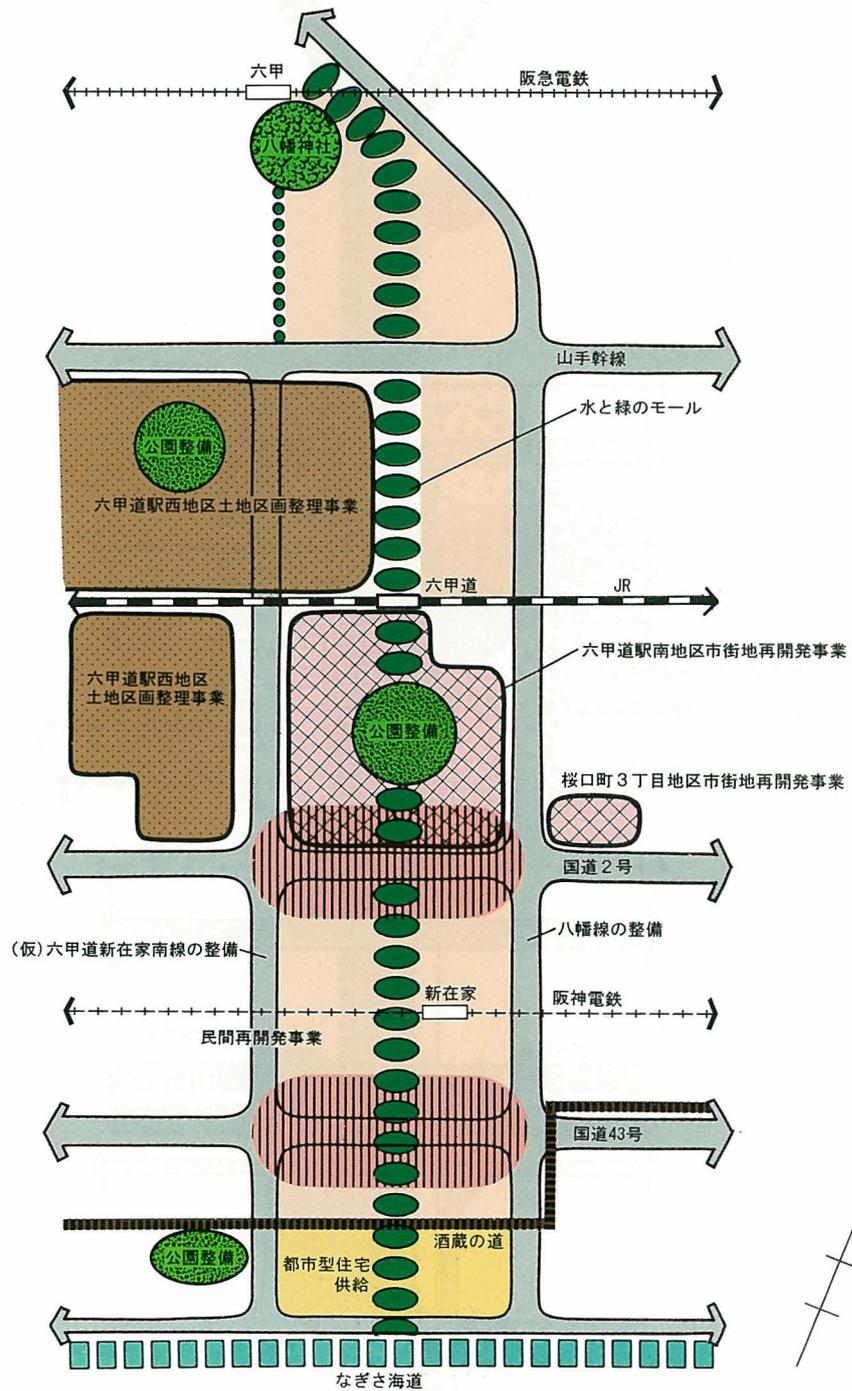


生田川河川緑地軸の整備

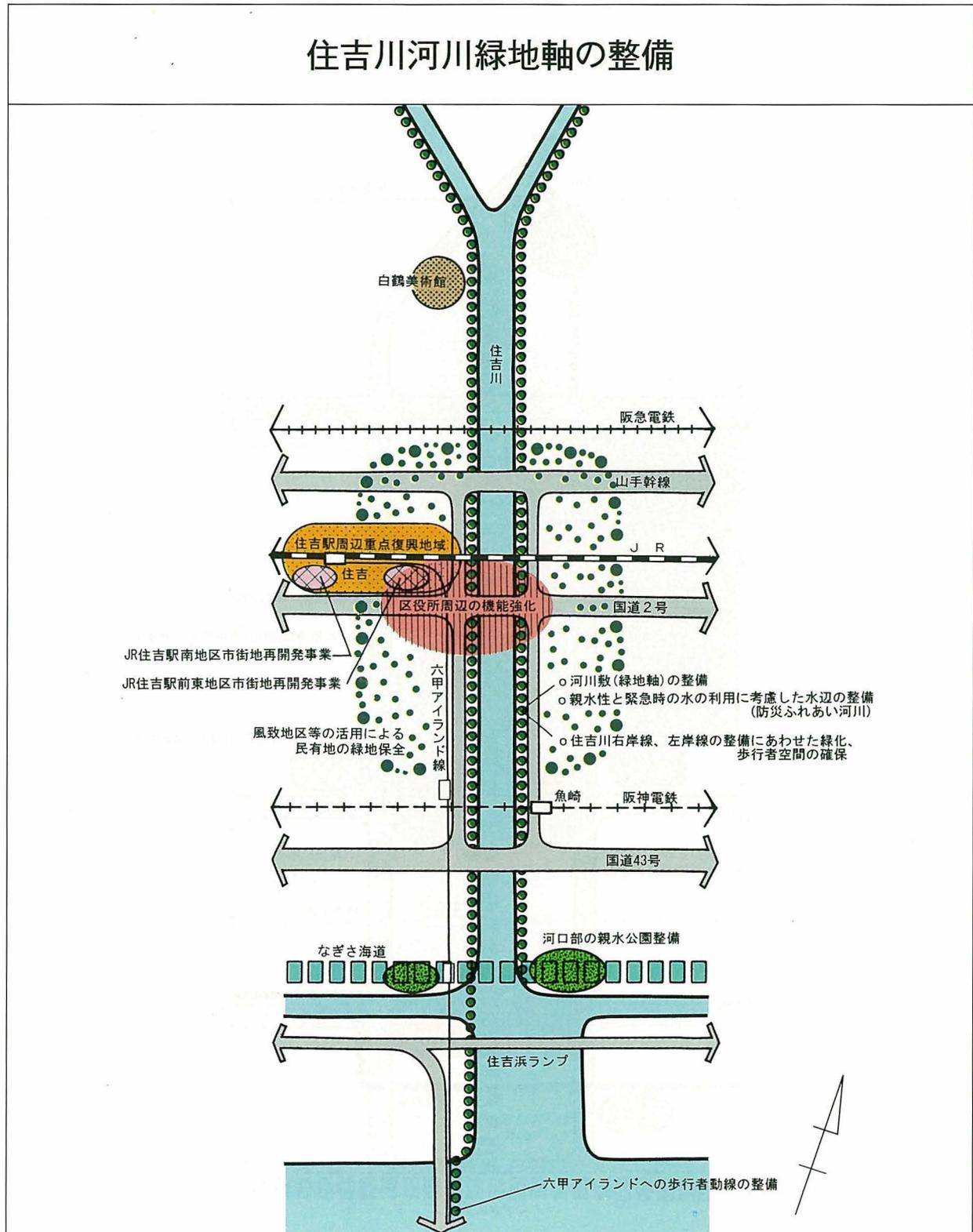


東部復興プロジェクト①

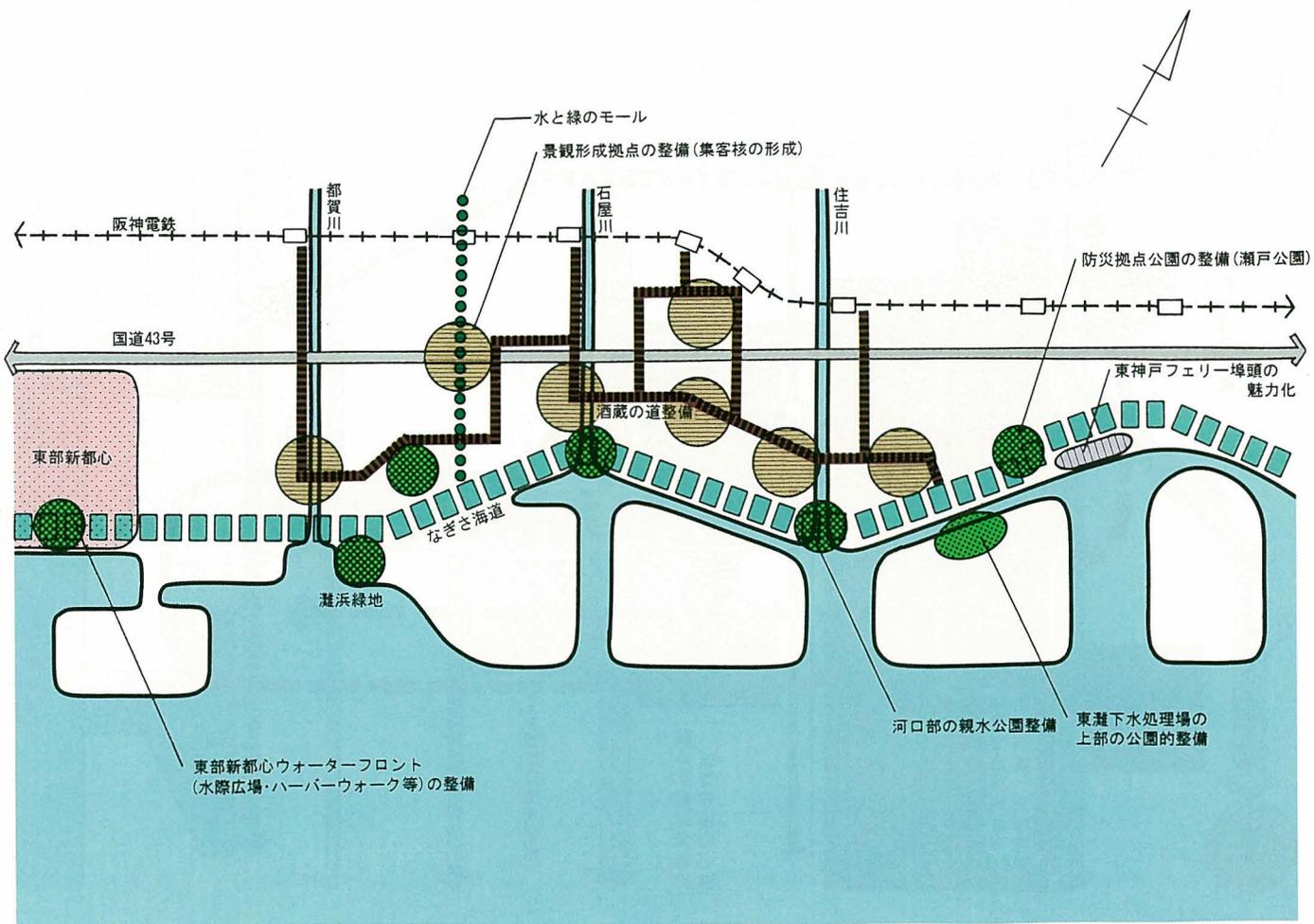
東部副都心軸の整備



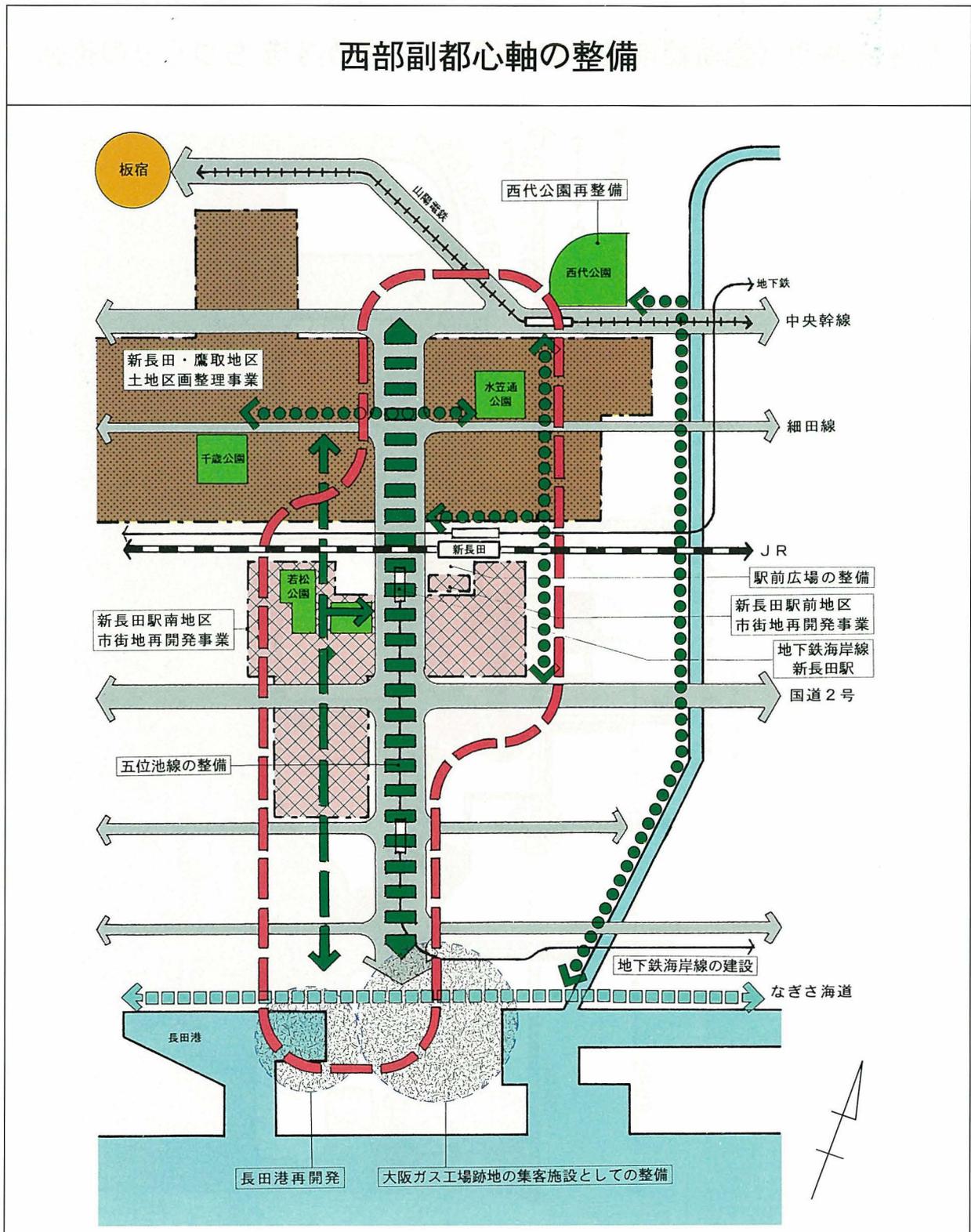
住吉川河川緑地軸の整備



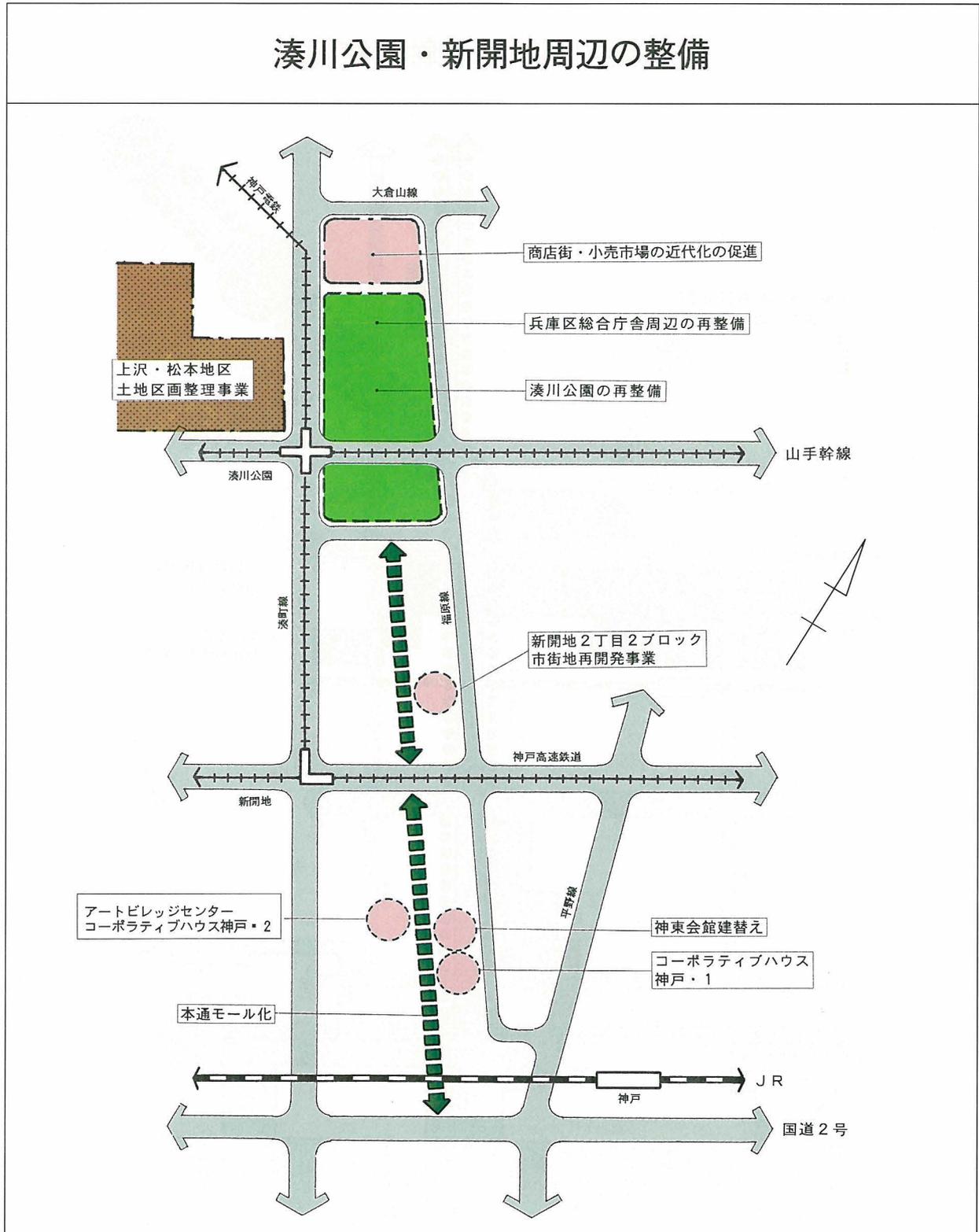
なぎさ海道（臨海緑地軸）の整備・酒を生かすまちづくりの推進



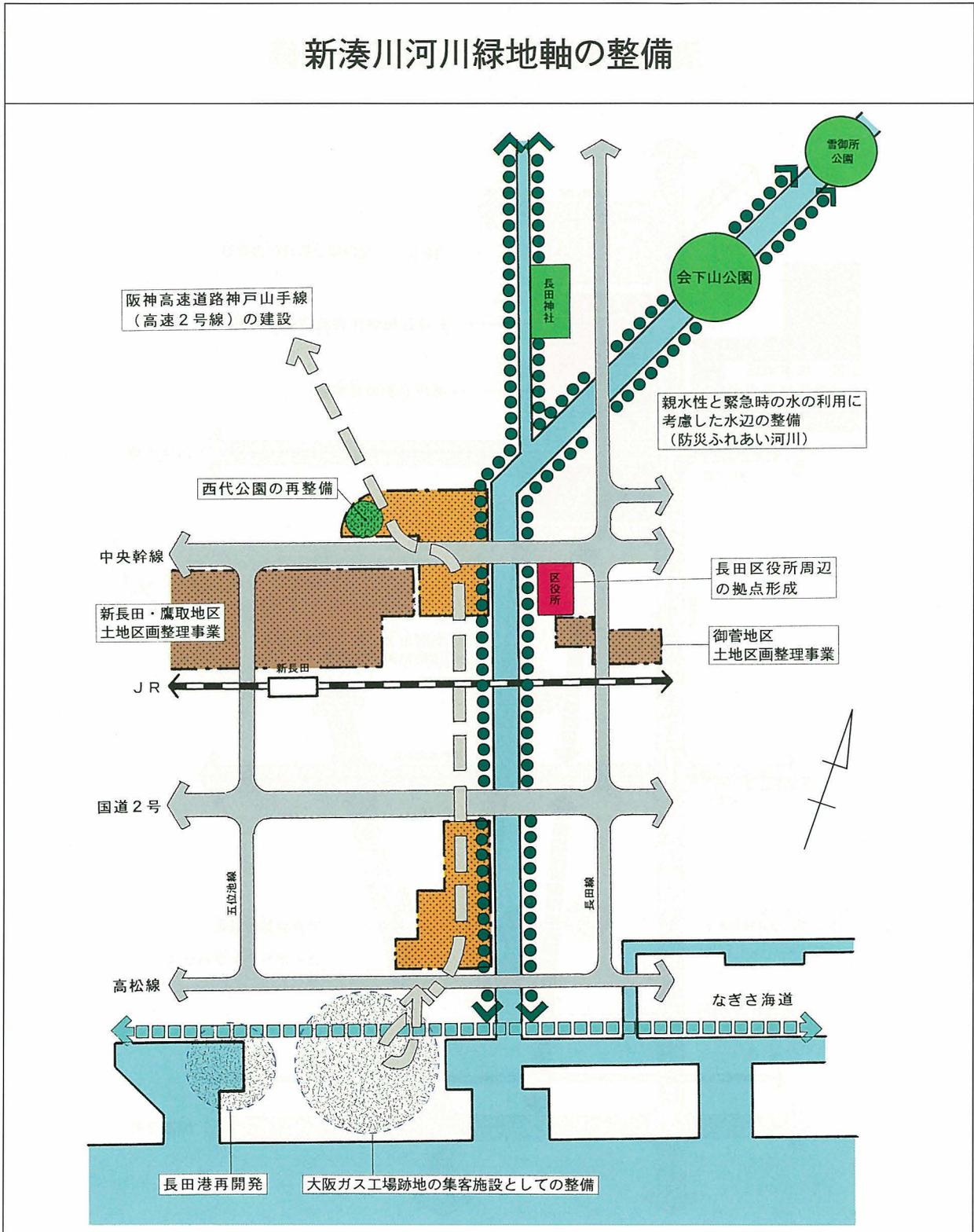
西部副都心軸の整備



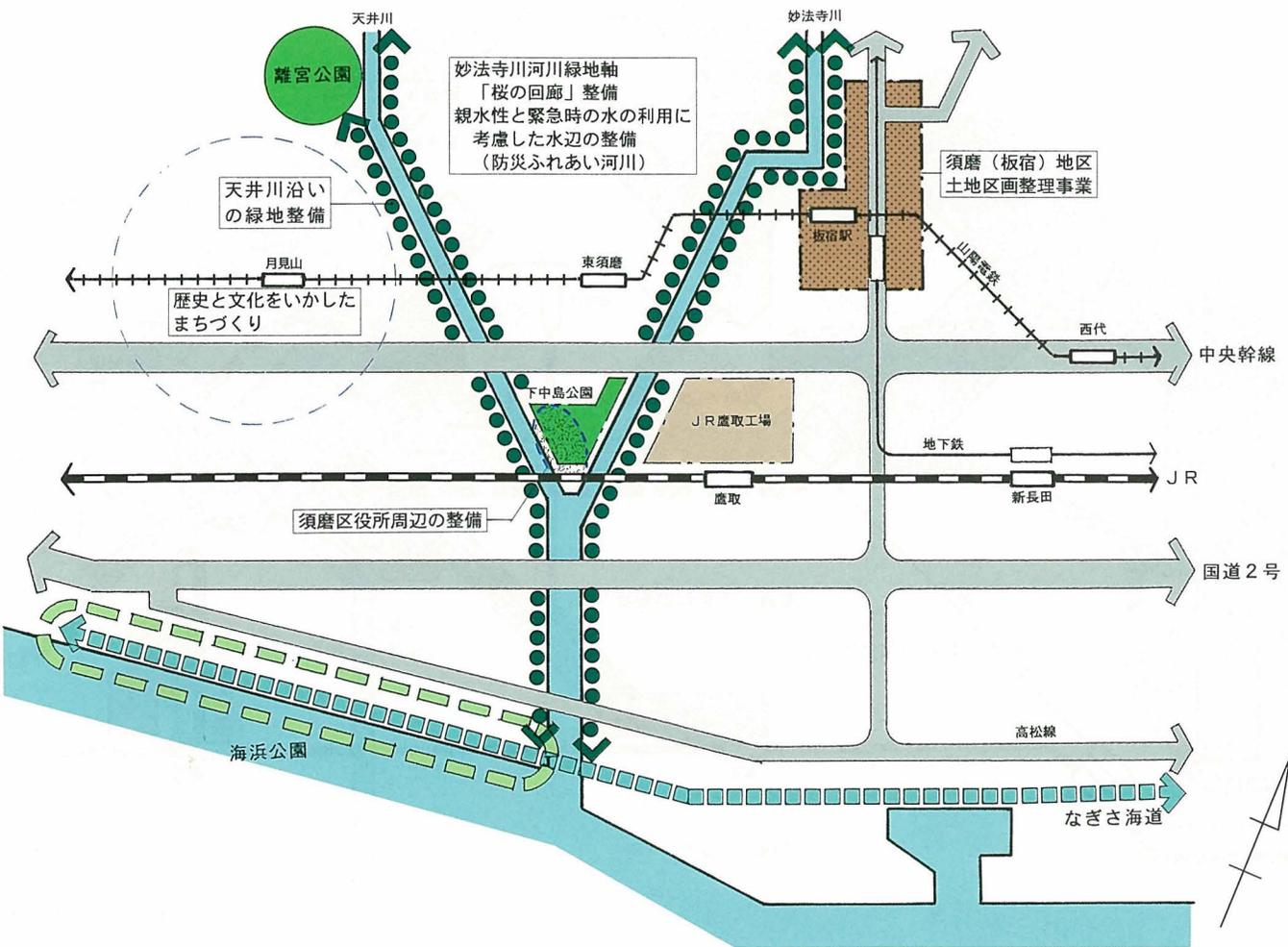
湊川公園・新開地周辺の整備



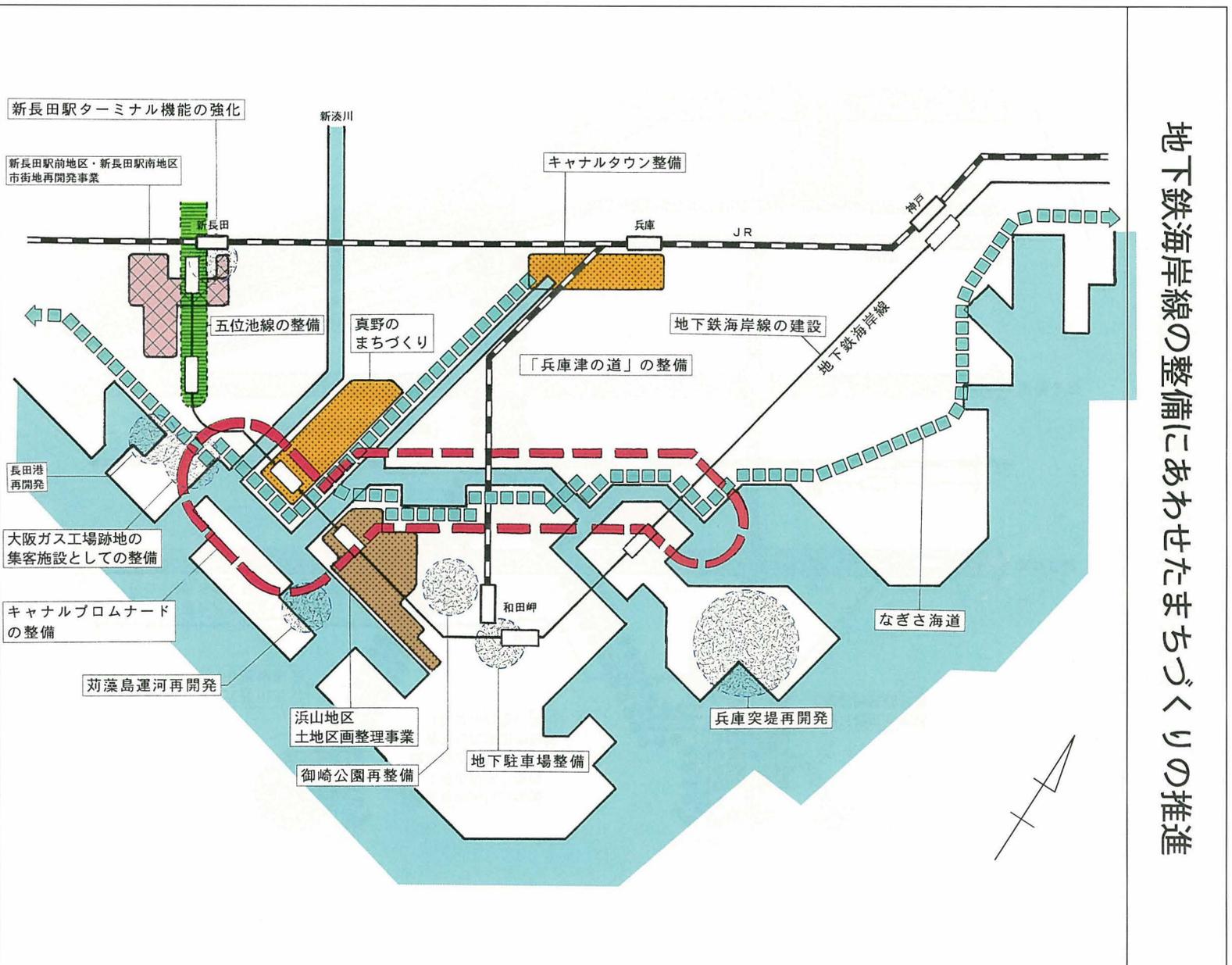
新湊川河川緑地軸の整備



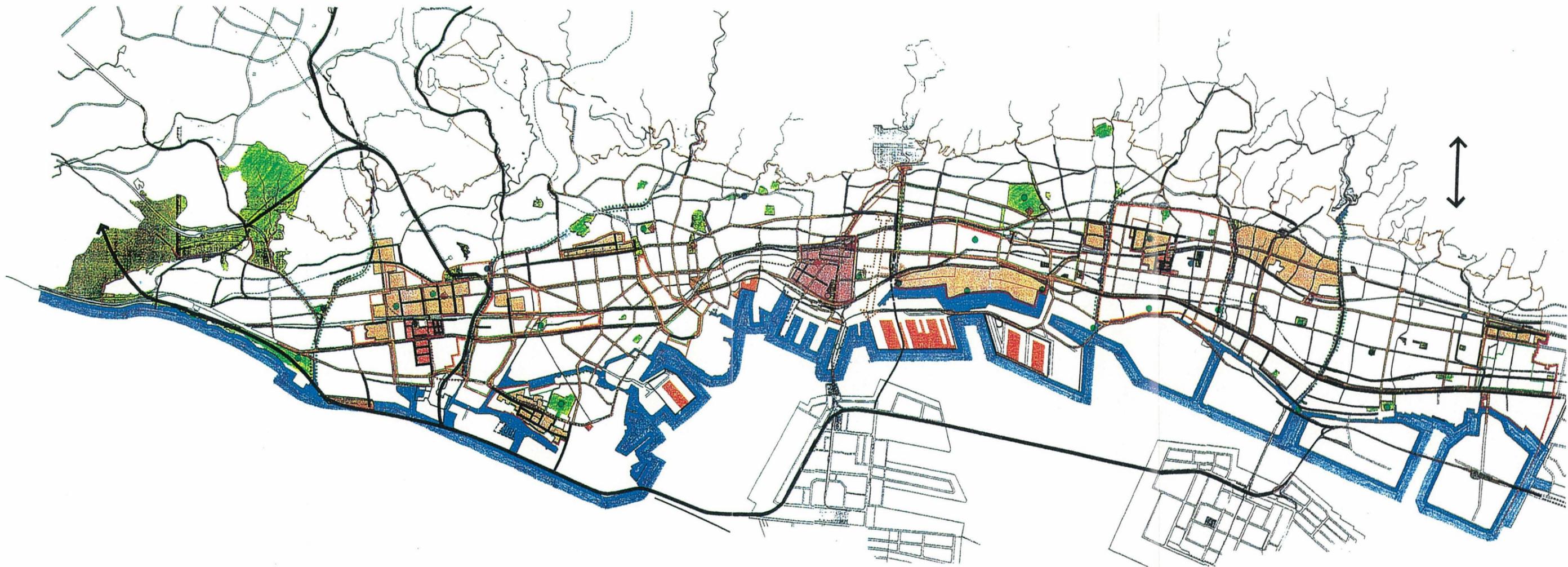
妙法寺川河川緑地軸の整備



地下鉄海岸線の整備にあわせたまちづくりの推進



主な市街地整備事業位置図



凡	例
	既存都市計画道路
	未整備道路
	公園 (1ha以上)

凡		例
5年内着手	10年内着手	プロジェクト
		道路整備
		鉄道 (地下鉄)
		河川改修事業
		防災ふれあい河川整備
		公園・緑地整備
		港湾整備
		駐車場整備

凡	例
	震災復興促進区域
	重点復興地域
	土地区画整理事業区域
	再開発事業区域
	地区計画区域
	住宅市街地総合整備事業区域
	密集住宅市街地整備促進事業区域
	港湾整備
	埋立

主な市街地整備事業一覧表

■ 重点復興地域の指定

地区名	面積	整備目標
都心地域		
三宮周辺	約 85ha	都心機能の再生及び強化
東部新都心	約122ha	新たな都心としての拠点の形成
東部市街地		
森南	約 18ha	生活中心としての拠点の形成及び良好な住宅市街地の再生
深江	約111ha	生活都心の整備並びにまちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
J R住吉駅周辺	約 10ha	生活都心にふさわしい機能の導入及び拠点の形成並びに住環境の整備
六甲道駅周辺	約 26ha	東部副都心の核にふさわしい機能の導入及び拠点の形成
都賀周辺	約 5ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
新在家南	約 27ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
河原西	約 14ha	都市基盤の整備及び住環境の整備
味泥	約 24ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
六甲	約297ha	東部副都心周辺への住宅の重点供給
西部市街地		
新開地周辺	約 33ha	生活都心にふさわしい機能の導入及び拠点の形成並びに住宅供給
西出・東出・東川崎	約 23ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
松本周辺	約 22ha	生活基盤の整備及び住環境の整備
チャンネルタウン兵庫	約 23ha	住宅の重点的供給及び地域拠点施設の整備
浜山	約 68ha	都市基盤の整備及び住環境の整備
長田・大開駅周辺	約 54ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
御菅	約 30ha	都市基盤の整備及びまちづくり協議会との連携による住環境の整備
尻池北部	約 20ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
真野	約 39ha	まちづくり協議会との連携による住宅及び住環境の整備
新長田駅周辺	約 89ha	西部副都心の核にふさわしい機能の導入及び拠点の形成並びに住環境の整備
大道周辺	約 23ha	都市基盤の整備及びまちづくり協議会との連携による住環境の整備
真陽	約 8ha	生活基盤の整備及び住環境の整備
新長田	約232ha	西部副都心周辺への住宅の重点供給

■ 主な事業

事業名	目的・内容	概ね5年以内に実施予定事業
①市街地の面的な整備		
地区計画	防災に配慮した建築物の誘導等	旧居留地地区 三宮駅南地区 税関線沿道南地区 三宮西地区 税関線東地区 税関線沿道北地区 他
都市景観形成地域	良好な景観の誘導	税関線沿道地区 旧居留地地区 北野町山本通地区 南京町地区 神戸駅・大倉山地区 岡本駅前地区 須磨・舞子海岸地区
土地区画整理事業	道路、公園等の公共施設の整備	東部新都心地区 葺合地区 六甲道駅西地区 森南地区 河原地区 東灘山手地区 松本地区 御菅地区 新長田地区 鷹取地区 須磨（板宿）地区 上沢地区 浜山地区
市街地再開発事業	道路、公園等の公共施設の整備及び住宅の供給	六甲道駅南地区 桜口町3丁目地区 JR住吉駅南地区 JR住吉駅前東地区 新長田駅南地区 新長田駅前地区 新開地2丁目第2ブロック

事業名	目的・内容	概ね5年以内に実施予定事業
住宅市街地総合整備事業	民間の住宅建設の支援及び公営・公社・公団による住宅の整備	東部新都心地区 神戸駅周辺地区 六甲地区 兵庫駅南地区 松本周辺地区 御菅地区 新長田地区 真陽地区
密集住宅市街地整備促進事業	住環境の整備	宮本・吾妻地区 西出・東出・東川崎 深江地区 原田・岩屋地区 長田南部地区 尻池北部地区 真野地区 浜山地区
②河川整備		
防災ふれあい河川	親水性と緊急時の水の利用に考慮した水辺の整備	住吉川、石屋川、都賀川、生田川、新湊川、妙法寺川
河川改修	治水安全度の向上を図るための河川整備	要玄寺川、高羽川、西郷川、宇治川、福田川、狐川、北野川 高橋川、天神川、高羽川、観音寺川 千森川
③公園緑地整備		
公園の整備	身近な公園の整備 公園の防災機能の強化 防災機能を付加した多目的公園の整備 新たな公園の整備 シンボル公園の整備	街区公園 磯上公園 住吉公園、川井公園 大和公園、瀬戸公園 王子公園 西代公園、兵庫駅南公園、荒田公園、御崎公園、水笠通公園、千歳公園、若松公園、海浜公園 六甲道南公園、六甲道北公園 新在家南公園 東遊園地

事業名	目的・内容	概ね5年以内に実施予定事業
河川沿公園の整備	河口部における緑地整備 河川沿公園等の整備による水とみどりのネットワークの形成	生田川河口部の緑地整備 住吉川河口部の緑地整備 住吉川公園、石屋川公園 都賀川公園、新湊川公園
④交通ネットワークの整備		
道路整備	広域道路網の整備 市街地道路網の整備 (東西道路の整備) (南北道路の強化)	新神戸トンネル南伸 大阪湾岸道路 ハーバーハイウェイ新港ランプ 港島トンネル 東神戸線 神戸山手線(高速2号線) 都市高速道路2号線分岐線 湾岸側道 国道43号の6車線化 山手幹線 灘浜住吉川線 中央幹線、山麓線、松本線 生田川右岸線 神戸三田線 住吉川右岸線、左岸線 八幡線、六甲線、JR新駅線 東御影線、花園線、弓場線 国道28号(長田線)、 五位池線、山下線、千森線、 長田箕谷線、須磨多聞線、 房王寺線、 駒ヶ林南線、和田岬線 阪神電鉄(魚崎～深江) 山陽電鉄
鉄軌道の整備 駅前広場の整備	市営地下鉄の整備 ターミナル機能の強化	地下鉄海岸線 三宮駅前広場、 新長田駅前広場
公共駐車場の整備	駐車場対策の総合的推進	元町東駐車場、Ⅱ期駐車場 大倉山駐車場 三宮北駐車場 王子駐車場 荒田駐車場、和田岬駐車場 細田駐車場

事業名	目的・内容	概ね5年以内実施予定事業
交通安全施設の整備	プロムナード整備 コミュニティ道路 歩行者動線整備 立体横断施設 阪急電鉄立体交差点拡幅 歩道設置 地下道スロープ化 地下道改築	旧居留地内 花時計線 成徳小学校周辺 志里池小学校周辺 灘駅南北線 中突堤歩道橋再整備 山麓線高羽交差点 魚崎幹線 福池小学校周辺 兵庫駅南地下道 長田区役所前
⑤港湾整備		
港湾整備	再開発 旅客ターミナル整備 フェリーバースの耐震化 耐震強化岸壁の整備 ウォーターフロント整備 兵庫運河の親水空間の整備 港湾緑地の整備	国産・弁天地区 京橋～新港第1突堤 新港突堤東地区 摩耶埠頭 兵庫突堤 長田港周辺地区 新港第1・4突堤 国産・弁天地区 東神戸フェリー埠頭 新港突堤東地区 摩耶埠頭 兵庫突堤1～2突 東部臨海部地区 キャナルプロムナード 各地区